

振興局	市町村名	再エネ、省エネ機器等導入状況			
		機器・設備	導入状況	設置場所	規模・能力
◎ 上川	南富良野町	太陽光発電システム	1箇所/2箇所	南富良野中学校	18kw×1台
		太陽光発電システム	1箇所/2箇所	南富良野小学校	18kw×1台
		地中熱ヒートポンプ	2箇所	南富良野西小学校 幾寅保育所	195.5kw×1台 73.2kw×1台
		LED照明	1箇所	役場庁舎	186台
		LED街路灯	29箇所	町内各所	
		LED照明	40箇所	公共施設	5,297台
	占冠村	薪ボイラー	1箇所	金山地区コミュニティセンター かなやま湖オートキャンプ場管理棟	2基
		薪ストーブ	1箇所	温泉施設 湯の沢温泉	200kw×1台
		薪ストーブ	1箇所	スキー場ロッジ	16.2kw×1台
		薪ストーブ	1箇所	交流施設 ミタム	20.5kw×1台
		LED街路灯	116基	村内各所	
		LED街灯(H29)	15基	村内各所	
		LED照明	299本	占冠村役場	
		LED照明	12台	湯の沢温泉	
		LED照明	168基	占冠中学校	
		LED照明	240基	トナム小中学校	
		LED照明	9基	占冠中央小学校	
	和寒町	LED街路灯(H30)	10基	村内各所	
		街路灯LED化	14箇所	役場前地	
		LED街灯	9箇所	公共施設他	34基
		LED防犯灯	17箇所	町内各所	
		LED照明	58台	役場庁舎ロビー	8.7w×58台
		LED照明	7基	自治会館	
		木質バイオマスボイラー	1箇所	役場庁舎、図書館、保健センター	
	剣淵町	太陽光発電システム	1箇所	交流施設ひだまり、農村体験交流滞在施設エコーアーク	
		太陽光発電システム	1箇所	剣淵小学校	11.7kw×1台
		LED照明	112箇所(H25)	役場庁舎	16W×5 20W×28 60W×79
		LED照明	18箇所(H26)	役場庁舎	20W×18
		LED証明	907箇所(H30)	役場庁舎	
		LED証明	879箇所(H30)	健康福祉総合センター	
		LED証明	462箇所(H30)	剣淵小学校	
		LED証明	474箇所(H30)	剣淵中学校	
		LED証明	566箇所(H30)	剣淵高校	
		LED証明	559箇所(H30)	絵本の館	
		LED証明	89箇所(H30)	学童保育所	
		LED証明	172箇所(H30)	保育所	
		LED証明	88箇所(H30)	農業振興センター	
		LED証明	32箇所(H30)	地場産品加工研究センター	
		LED証明	83箇所(H30)	農産物加工研究施設	
	下川町	ボイラー	3	役場庁舎	A重油→灯油
		ボイラー	2	健康福祉総合センター	A重油→灯油
		木質バイオマスボイラー	8箇所	五味温泉、幼児センター、育苗施設、役場、高齢者複合施設、一の橋、小学校、病院、中	180kw・100kw・581kw・1200kw・450kw・1100kw・700kw・240kw
ペレットボイラー		2箇所	町営住宅・エコハウス	80kw・15kw	
太陽光発電システム		4箇所	下川小・中学校・一の橋・エコハウス	10kw・15kw	
街路灯のLED化			町内一円(国道沿い)	55灯	
防犯灯のLED化			町内一円	526灯	
ペレットストーブ		2箇所	五味温泉・エコハウス		
美深町	薪ストーブ	2箇所	ルベ・美桑ヶ丘		
	地中熱ヒートポンプ	3箇所	エコハウス・まちおこしセンター・結いの森	10kw・20kw・28kw×2	
	街灯省エネ化等改修事業	H24年11月 65基	自治会内各所	LED球39灯、 エアーライト24灯	
	街灯省エネ化等改修事業(LED化)	H24年12月 101基	町有施設	LED	
	街灯省エネ化等改修事業	H25年12月 52基	自治会内各所	LED球51灯、 エアーライト1灯	
美深町	木質バイオマスボイラー	H27年2月稼働 1基	町温泉施設(美深温泉)	最大出力550kwH	
	太陽光発電システム	H27年2月稼働	美深中学校 1箇所	総出力17kw(パネル78枚)	

振興局	市町村名	再エネ、省エネ機器等導入状況			
		機器・設備	導入状況	設置場所	規模・能力
⑧ 上川	美深町	街灯省エネ化等改修事業	H27年10月 30基	自治会内各所	LED球30灯
		街灯省エネ化等改修事業	H28年10月 38基	自治会内各所	LED球38灯
		街灯省エネ化等改修事業	H29年10月 32基	自治会内各所	LED球32灯
		街頭省エネ化等改修事業	H30年8月 1基	西紋自治会	LED(水銀灯100w相当)
	音威子府村	村内街路灯LED化事業	54基	村内各所	
		ボイラー(木質チップ)	1基(平成25年度導入)	住民保養センター 天塩川温泉	350kw
	中川町	LED照明(防犯灯)	H21 227基	町内全域	
		LED照明	H25 357基	中川中学校	
		LED照明	H26 293基	生涯学習センター	
		LED道路照明	H29 36基	町道(東西線)	
LED道路照明		H29 10基	町道(野球場線)		
	LED道路照明	H29 10基	町道(トコナイ線)		
⑨ 留萌	留萌市	省エネ高効率ボイラ	1箇所 2基	留萌市役所庁舎	熱効率95%
		LED照明	H22:50基、H26:9基	H22:留萌市役所庁舎1階ロビー H26:西分庁舎1階、2階	
	苫前町	木質ペレットボイラー	H27 1基 H27 1基	古丹別小学校 苫前小学校	225kw 225kw
		LED照明化	H27:2箇所、H28:1箇所(古丹別小学校、古丹別歯科診療所、苫前小学校)	古丹別小学校	街灯1基、 体育館36基、 各教室等黒板灯20基、 共有スペース116基他
		LED照明化	H27:2箇所、H28:1箇所(古丹別小学校、古丹別歯科診療所、苫前小学校)	古丹別歯科診療所	照明45基
		LED照明化	H27:2箇所、H28:1箇所(古丹別小学校、古丹別歯科診療所、苫前小学校)	苫前小学校	体育館44基、 普通教室8基、 特別教室11基、 共有スペース等101基
		街灯LED化	H25~H26 2基	北斗団地	
		道路照明LED化	H26~H28 33基	町内町道	
		防犯灯LED化	H26 17基、H27 17基 H28 314基	各町内会防犯灯	
		LED照明化	H29 12基	苫前町B&G海洋センター	プール天井直付、防湿、防雨、3.800lm
	道路照明LED化	H29 6基	町内町道		
	羽幌町	街灯LED化	H23~H26 52基	町内各所	
		太陽光発電、風力発電、太陽熱利用設備、LED街灯	H26	天売小中学校	太陽光:10kw×1基、 風力:1kw×4基、 太陽熱:11.46㎡×1基、 LED街路灯2基
	天塩町	太陽光発電、風力発電、太陽熱利用設備	H26	天塩温泉夕映	太陽光:9kw×1基、 風力:5kw×1基、 太陽熱:11.46㎡×1基
	⑩ 宗谷	稚内市	太陽光発電システム	H23年3月 市に無償譲渡	稚内市カノーラ発電所
LED街灯			H30:532基	市内各所の公共灯、防犯灯	
猿払村		LED防犯灯、LED照明	H23~28 617基	村内全域	
		地中熱ヒートポンプ	H28~29	楽楽心	暖房床面積 1,459.35㎡、 ホール深さ 80m×25本、 底部温度12~17℃
浜頓別町		LED防犯灯、LED照明	H27 151基	町内各所	
中頓別町		防犯灯、道路照明LED化	H25~26 331基	町内全域	
枝幸町		LED防犯灯	H21~29年度、643基 H30年度、43基	町内各所	水銀灯100w相当を更新
		LED照明	H23~H24年度、279箇所	枝幸町役場庁舎	
礼文町		LED照明		町内各所	
利尻町		太陽光発電システム		利尻町総合体育館「夢交流館」	15KW
		風力発電システム		利尻町総合体育館「夢交流館」	1KW×4
		蓄電池		利尻町総合体育館「夢交流館」	110KW
		パソコン		利尻町総合体育館「夢交流館」	
		BEMS		利尻町役場庁舎	
		LPGコージェネ		利尻町役場庁舎	25KW
	パソコン		利尻町役場庁舎	30KW	
	LED照明		利尻町役場庁舎		
	EV充電ステーション		利尻町役場庁舎		
蓄電池		利尻町役場庁舎	84KWH		
両面受光パネル		利尻町役場庁舎	32.769KW		
利尻富士町	街路等のLED化	街路灯	町内各所		
幌延町	太陽光発電システム	4箇所	幌延小学校・間寒別小中学校・幌延町生涯学習センター・幌延町診療所		
	LED街灯	H23~H30 154基	町内154か所		

振興局	市町村名	再エネ、省エネ機器等導入状況			
		機器・設備	導入状況	設置場所	規模・能力
⑩ 宗谷	幌延町	LED照明(施設内照明)	H29	役場庁舎内	
	北見市	太陽光発電システム	19箇所	公共施設	146.5kw
		木質ペレットストーブ	9箇所	公共施設	
		バイオマスボイラー	4箇所	公共施設	
		バイオマス発電	1箇所	公共施設	
	網走市	太陽光発電システム	4箇所	中央小学校、南小学校、破砕リサイクル施設、浸出水処理施設	10kW
		自然水利用長期野菜貯蔵施設		東京農業大学網走寒地農場	68t
		木質ペレットストーブ	1台	エコセンター2000	1台
		バイオマス(下水汚泥)ボイラー		浄化センター(スラッジセンター)	
	紋別市	LED照明	1箇所	紋別葬苑	100w型4本、60w型6本
	美幌町	木質ペレットボイラー	1箇所	役場庁舎	1台(最大発熱量5,500kCal/H)
		照明のLED化	3箇所	役場庁舎・別館・町民会館(文化ホールを含む)	
		街灯・防犯灯のLED化	2,240灯交換、88灯新設、合計2,328灯	町内全域	
	津別町	木質ペレットボイラー(公共施設)	3箇所設置済	役場庁舎・公民館・西町団地	
		防犯灯・道路灯のLED照明化	829灯導入済	町内一円	
		太陽光発電システム	1箇所設置済	中学校	10kw、蓄電池15kw
		高効率照明(LED照明)	21個	中学校	
		木質ペレットボイラー(非公共施設)	2箇所設置済	特養・認定こども園	
		木質ペレットストーブ	10台設置済	公共施設	
	斜里町	バイオマス(廃棄物)ボイラ	2箇所設置済	エコグリーンセンター、町立病院	300kW、750kW
		バイオマス(廃棄物)燃料製造施設	1箇所	エコグリーンセンター	
		太陽光発電システム	1箇所	図書館	10kW
	清里町	太陽光発電システム	3箇所設置済	町民会館、札幌センター、札幌カントリー	10kw、3kw、900kw
		防犯灯のLED化	H26～H28	町内各所 順次交換	
		公共施設のLED照明化	1箇所設置済	役場庁舎 各施設順次交換	
	小清水町	太陽光発電システム	2箇所	小学校、中学校	小学校10kw、中学校9.82kw
	訓子府町	LED照明	2施設	居武士小学校、子育て支援センター	83台
		LED街灯	742灯(H27～28)	町内一円(街路、防犯灯)	
		太陽光発電、地中熱ヒートポンプ	1箇所	認定こども園	太陽光10kW、地中熱ヒートポンプ168kW
	佐呂間町	防犯灯のLED化	順次更新	町内各所	
		LED照明化	2箇所	役場庁舎、図書館	
	遠軽町	木質ペレットストーブ	H21～25 3箇所	木楽館・福祉センター・木芸館	4台
木質チップボイラー		H25 1箇所	やまびこ温泉	350KW	
太陽光発電設備		H27 1箇所	保健福祉総合センター	10KW	
LED生活安全灯		H24～470灯	町内一円		
湧別町	太陽光発電システム	2箇所	中湧別小学校5kw上湧別小学校10kw	太陽光発電15kw	
滝上町	木質ペレット・チップボイラー	3箇所	ペレット;滝上町認定こども園、チップ;特養老人ホーム深樹園・ホテル湊谷	3台	
	防犯灯等の省電力化(LED・ライト)	593灯	町内各所		
興部町	LED照明(防犯灯)	設置及び交換につき順次補助	町内各所		
西興部村	街灯のLED照明化	H26年度で全村設置済	村内一円の街路灯・防犯灯		
	公共施設のLED照明化	村内施設全般設置済	村内一円施設		
雄武町	街路灯のLED化	18本(H31.3.31)	町内一部(順次実施)		
大空町	LED街路灯	1,135基	町内各所		
⑪ 十勝	帯広市	太陽光発電システム	21箇所	福祉センター、小中学校等	計296.72kW
		太陽熱給湯システム	1箇所	学校給食センター	
		木質ペレットストーブ	12箇所、19台	福祉センター、小中学校等	
		木質ペレットボイラー	1箇所、3台	帯広市市民農園サラダ館	
		地中熱ヒートポンプ	2箇所、3台	帯広の森市民プール、小学校	
		消化ガス発電設備	1箇所	帯広川下水終末処理場	
		高効率照明(公共施設)	57箇所		
		高効率照明(道路照明灯)	3,159灯		
		高効率照明(公園照明灯)	137灯		
高効率照明(町内会防犯灯)	13,972灯				

振興局	市町村名	再エネ、省エネ機器等導入状況			
		機器・設備	導入状況	設置場所	規模・能力
⑫ 十勝	音更町	太陽光発電システム	7箇所	ひびき野会館、木野東会館、木野東の学童保育所、音更中学校、火葬場、柳町学童保育所、木野消防会館、西中消防会館	20kW×1台、5kW×7台
		街路灯のLED灯・ナトリウム灯化	街路灯、防犯灯	町内一円	
		空気熱ヒートポンプ	1箇所	音更町火葬場	13.6kW×1台、12.2kW×2台、17.0kW×1台
		地中熱ヒートポンプ	1箇所	音更中学校	
	土幌町	太陽光発電システム	6箇所	小・中学校各1、保育所2、公民館1、土幌町養祥の地1	5kw×1台、10kw×1台、20kw×3台、998kw×1台
		木質ペレットストーブ	2箇所	保育所H23 役場庁舎H18年度から	2台
		LED照明	全箇所	土幌町役場庁舎内	
	上土幌町	街路灯・防犯灯のLED化	H29～H31 170箇所	町内各所	水銀灯100-300W相当を更新
	鹿追町	LED照明	H25	役場庁舎	5.4W×1本、26W×4本、31W×477本、64W×8本、83W×5本
		LED照明	H28	鹿追町総合体育館	
		LED照明	H29	街路灯、防犯灯、道路灯	20VA×116灯、40VA×45灯、60VA×268灯、100VA×17灯、80W×12灯、70W×114灯、79W×183灯、62W×69灯
	新得町	木質ペレット	3カ所	役場庁舎・公衆浴場・屈足南小学校	3台
		太陽光発電システム	1カ所	新得小学校	19.17kW×1台
		小規模風力	1カ所	子どもセンターなかよし	0.45kW×1台
		ヒートポンプ(地中熱)	1カ所	屈足保育園	23.3kW×3台
	清水町	街灯のLED化	(順次進めている)	町内各所	
	芽室町	太陽光発電システム	9箇所	芽室西小学校、芽室西中学校、芽室南小学校、上美生小学校、上美生中学校、めむろ西子どもセンター、芽室町総合体育館、めむろ子どもセンター、ひだまり保育所	15kW×1台、10kW×4台、20kW×2台、9.5kW×1台、11kW×1台
		木質ペレットストーブ	4箇所	役場庁舎、上美生農村環境改善センター、塵芥管理事務所、芽室ふれあい交流館	5台(芽室ふれあい交流館は2台設置)
		地中熱ヒートポンプ	2箇所	めむろ西子どもセンター、めむろ子どもセンター	40kW×1台、6.5kW×5台
		街灯のLED化	391基	町内各所	
		木質バイオマス発電設備	1箇所	芽室町総合体育館	1台(発電25kW、発熱39kW)
	中札内村	木質ペレットストーブ	1箇所	リサイクルセンター	1台
		LED照明	2箇所 街路灯、防犯灯	保健センター、文化創造センター、村内一円	
		太陽光発電システム	1箇所	保健センター	10kw
	更別村	太陽光発電システム	4箇所	更別浄化センター、老人保健福祉センター、更別小学校、十勝センターナショナルスピードウェイ	
		街路灯LED化	街路灯、防犯灯	村内一円	
	大樹町	街路灯・防犯灯のLED・E-ライト化	1,037灯	町内一円	LED18w球×584基、E-ライト55w球×453基
		木質バイオマス(チップ)ボイラー	1箇所	晩成温泉	360kW×1基
	広尾町	街路灯のLED化	街路灯、防犯灯(737箇所)	町内一円	水銀灯100-300W相当を更新
		太陽光発電システム	1箇所	役場	18kW
	幕別町	太陽光発電システム	4箇所	役場庁舎、保育所、小学校、中学校各1	20kw×2台、13.9kw×1台、10kw×1台
		地中熱ヒートポンプ	2箇所	役場庁舎、役場支所	110kW×1台、470kW×1台
	池田町	太陽光発電システム	2箇所	十勝いけだ地域医療センター 池田中学校	5kw 20kw
地中熱ヒートポンプ		1箇所	池田中学校		
LED防犯灯		H22～24 864基	町内各所		
LED照明		4箇所	役場庁舎、保健センター、地区コミセン		
豊頃町	室内照明のLED化	3箇所	える夢館 豊頃小学校 庁舎	295個(うち30年度221個) LED直管5灯381本(うち30年度0本) 200個(うち30年度20個)	
	街路灯のLED化	374基(うち30年度70基)	町内一円		
本別町	太陽光発電システム	1箇所	勇足保育所	5kW×1台	
	太陽光発電システム	1箇所	学校給食共同調理場	20kW×1台	
	街路灯のLED・ナトリウム灯化	1,304基	市街地一円	(例)水銀灯100W→LED20W	
	室内照明のLED化	218基	役場本庁舎		
	室内照明のLED化	127基	本別町体育館		
	室内照明のLED化	217基	勇足小学校	蛍光灯⇒LED灯209基 体育館水銀灯5灯⇒LED灯5灯 屋外水銀灯3灯⇒LED灯3灯	

振興局	市町村名	再エネ、省エネ機器等導入状況			
		機器・設備	導入状況	設置場所	規模・能力
⑫ 十勝	本別町	室内照明のLED化	2,336基	健康カンリセンター、町体育館、町図書館、町資料館、中央小学校、仙美里小学校、本別中学校、勇足中学校、多目的アリーナ、町立病院	
		ボイラー機器交換	3台	町図書館、町立病院	
	足寄町	木質ペレット燃焼機器	ボイラー2箇所、ストーブ30基	役場、子どもセンター、公共施設 消防、高齢者福祉施設(供給先追加)	ペレットボイラー 530kW2基、230kW2基、
		太陽光発電	1箇所	足寄中学校	20kW×1台
		温泉熱暖房	1箇所	足寄町総合体育館、足湯	暖房能力500kW 相当×1式
		高効率照明導入		役場・足寄中学校等	
		LED街路灯	467基	市街地	
		地中熱利用換気システム	1箇所	役場アースチューブ換気システム	調整能力10kW相当×1式
		電気自動車	1台	役場(公用車)	日産Leaf 1台
		電気自動車用急速充電器	1箇所	道の駅あしよる銀河ホール21	20kW×1基
	陸別町	太陽光発電システム	1箇所	陸別小学校	
		LED照明	3施設	陸別小学校 役場庁舎 保健福祉センター	
		街路灯のLED照明化	98基	町道沿線	
		防犯灯のLED照明化	131基	町道沿線	
	浦幌町	木質チップボイラー	1箇所	うらほろ留真温泉	1台
		太陽光発電システム	1箇所	中学校	19.7kW
		太陽光発電システム	1箇所	移住体験住宅	3.08 kW
		防犯灯のLED化	618箇所	町内全域	水銀灯100W相当→LED8.7W
	⑬ 釧路	釧路市	太陽光発電システム	17箇所	釧路市立湖畔小学校など
太陽光発電システム			1箇所	釧路市昭和中央児童センター	6kw×1台
釧路町		LED蛍光灯		釧路町役場	直管型及び球型870個
		太陽光発電システム	1箇所	釧路町地産地消センター	4kw
		LED防犯灯	2000基	町内各所	
厚岸町		LED蛍光灯	1箇所	厚岸町役場	451箇所
		LED街路灯	順次更新	町内各所	
		太陽光発電システム	1箇所	道の駅厚岸グルメパーク	9.52kw×1台
		地中熱ヒートポンプ	1箇所	厚岸町きのこ菌床センター	冷暖房用56.0KW
浜中町		風力発電施設	1箇所	ふれあい交流・保養センター	600kw(H12年開始)
		風力発電施設	1箇所	浜中町風力発電所	1500kw(H17年開始)
		太陽光発電システム	1箇所	MO-TTOかぜて	85.5w×36枚(H15年開始)
		太陽光発電+蓄電池システム	1箇所	ふれあい交流・保養センター	太陽光10kw+蓄電池16kw(H24年開始)
		街路灯LED化	1箇所	津波避難経路	40w×7基
標茶町		街路灯LED化	補助申請による	各自治会・町内会	
		太陽光発電システム	1箇所	標茶町塘路小中学校	10.6kw×1
		太陽光発電システム	1箇所	町立さくら保育園	7kw×1
		太陽光発電システム	1箇所	町立標茶幼稚園	4kw×1
		太陽光発電システム	1箇所	町立磯分内小学校	10kw×1
弟子屈町		太陽光発電システム	1箇所	町立中茶安別中学校	5kw×1
		太陽光発電システム	1箇所	弟子屈中学校自転車置場	190w×104枚
		太陽光発電システム	1箇所	道の駅イレ(屋根上)	190w×24枚
		雪氷冷熱冷房	1箇所	学校給食センター	157GJ/年
		ヒートポンプ(温泉熱)	1箇所	弟子屈消防署	1,315GJ/年
		温泉暖房	1箇所	奥春別交流センター	728GJ/年
		温泉暖房	1箇所	奥春別小学校	1,249GJ/年
		温泉暖房	1箇所	屈斜路研修センター	1,314GJ/年
	温泉暖房	1箇所	川湯ふるさと館	834GJ/年	
	温泉暖房	1箇所	駅前湯	156GJ/年	
	温泉暖房	1箇所	老人ホーム倭和園	5,677GJ/年	
	温泉暖房	1箇所	弟子屈町公宅	155GJ/年	
	温泉暖房	1箇所	弟子屈町公民館	1,179GJ/年	
	温泉暖房	1箇所	弟子屈町公用車格納庫	322GJ/年	
	温泉暖房	1箇所	弟子屈町役場庁舎	4,007J/年	

振興局	市町村名	再エネ、省エネ機器等導入状況			
		機器・設備	導入状況	設置場所	規模・能力
⑬ 釧路	鶴居村	LED蛍光灯	1箇所	役場庁舎	FL/FLR40-N・DL/23R(23W以下) I型131本 II型64本
		LED蛍光灯	1箇所	ふるさと情報館	40W2灯×95組、40W1灯×28組、20W2灯×12組、36W3灯×16組、55W3灯×6組
		LED街路灯	39箇所	村道	
		LED蛍光灯	1箇所	鶴居村総合センター	40W1灯×17組、40W2灯×57組
	白糠町	LED防犯灯	H22～ 1,135箇所	町内各所	10w 1,031基、20w 20基、
		太陽光発電設備	H30～ 1箇所	白糠町立庶路学園	49kW発電パネル 171枚
		木質ペレットボイラー	H30～ 1箇所	白糠町立庶路学園	50万キロワットボイラー 1基
		LED照明(施設内照明)	H30～ 1箇所	白糠町役場	2w 29基、2.6w 4基、2.7w 2基、5w 2基、6.2w 11基、7.9w 21基、9.9w 29基、11w 2基、12w 5基、12.1w 28基、13w 2基、13.2w 62基、13.3w 1基、14.1w 6基、16.9w 2基、17w 4基、18.9w 14基、21.5w 14基、25.3w 12基、26.3w 7基、27.3w 102基、29.3w 43基、30w 14基、32.6w 119基、38w 16基、44w 2基、45w 2基、64.3w 4基、67w 22基、80.4w 8基、169w 21基
		LED照明(施設内照明)	H30～ 1箇所	白糠町立茶路小中学校	2w 3基、2.6w 1基、2.7w 5基、6.2w 6基、9.3w 2基、9.5w 5基、9.7w 4基、10w 1基、12w 3基、13.3w 10基、16w 5基、21.5w 8基、27.3w 96基、29.3w 2基、30w 1基、33.3w 4基、38w 3基、39.8w 20基、44.3w 3基、52w 1基、113w 1基
		LED照明(施設内照明)	H30～ 1箇所	白糠町社会福祉センター	2w 6基、2.7w 3基、3.4w 4基、6.1w 5基、9.5w 9基、9.7w 8基、11w 1基、12w 3基、12.1w 12基、13.2w 8基、16.9w 4基、19.4w 2基、22w 1基、27.3w 53基、30w 13基、38w 2基、40w 1基、44w 20基、44.3w 44基、46w 87基、50w 5基、64.3w 8基
LED照明(施設内照明)	H30～ 1箇所	白糠町公民館	2w 3基、2.6w 1基、2.7w 5基、6.2w 6基、9.3w 2基、9.5w 5基、9.7w 4基、10w 1基、12w 3基、13.3w 10基、16w 5基、21.5w 8基、27.3w 96基、29.3w 2基、30w 1基、33.3w 4基、38w 3基、39.8w 20基、44.3w 3基、52w 1基、113w 1基		
⑭ 根室	根室市	太陽光発電システム	1箇所	根室市水産加工振興センター	3.5kW×1台
		LED街路灯	35灯	市内各所	
		LED照明(各施設照明)	971灯	各施設	
	別海町	LED防犯灯	20箇所	走古丹地区	200W×20基
		LED照明	68台	西児童館	LEDシーリングライト×68台
		LED照明	52台	西春別駅前柏団地	LEDシーリングライト×36台 LED棚下灯×8台 LED浴室用ブラケット×8台
		LED照明	21台	西春別駅前柏団地(供用部)	LEDシーリングライト×6台 LED富士型ランプ×15台
		LED照明	345台	町民体育館	70.7W×84台他
		LED照明	153台	上西春別中学校講堂	LED高天井器具3000型×20台 LEDベースライト×56台 LEDダウンライト×77台
		空冷式ヒートポンプマルチエアコン	6台	上西春別中学校講堂	暖房能力25.0kW
	中標津町	太陽光発電、太陽熱利用設備	H26	中標津町交流センター	太陽光:10kw×1基 太陽熱11.46㎡×1基
	標津町	LED街路灯	60基	町内	LED29.6w 16基(H26)、8基(H27)、9基(H28)、17基(H29)、LE10基(H30)
	羅臼町	温泉熱暖房	7箇所	温泉施設(民間)、環境省ビシターセンター、町立羅臼小学校、役場庁舎、町立羅臼幼稚園、町立老人福祉センター、国保診療所	敷地面積・施設の延べ面積 18,126 ㎡
プール		1箇所	町営温水プール	敷地面積・施設の延べ面積 403 ㎡	
温泉熱ロードヒーティング		6箇所	事業所(民間)、環境省ビシターセンター、町立羅臼小学校、消防署、役場庁舎、国保診療所	敷地面積・施設の延べ面積 2,425 ㎡	
LED照明		2箇所	役場庁舎 知床未来中学校	敷地面積・施設の延べ面積 8,566 ㎡	

表11 市町村における地球温暖化対策取組状況一覧(その他)

振興局	市町村名	その他			
		事業名	事業概要	H30実績	摘要
① 空知	夕張市	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
		ノ残業デーの実施	毎週水曜日を指定し、職員に呼びかけ		
	岩見沢市	太陽光発電設備設置補助事業	発電システム設置にかかる経費の一部を補助 工事費(税抜)の10%とし、上限額は150千円	8件 1,200千円	
		ノ残業デーの実施	7/1～9/30まで毎週水曜日に設定し、職員に呼びかけ		
	美幌市	軽装執務の実施	6/1～9/30まで実施		
		雪氷冷熱エネルギー導入事業補助金	市民等が行う雪氷冷熱エネルギー導入事業に対し、経費の一部を補助		
		クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
		公共施設における照明の消灯	昼休み時間の消灯、日中の窓際照明の消灯		
		ノ残業デーの実施	毎週水曜日、育児の日(毎月19日)、給料日に実施		
	芦別市	特定規模電気事業者の導入	市内公共施設への導入		
		サマースタイルの実施	6月から9月		
		国際年記念エネルギー特別展	省エネ講座、電気自動車試乗体験など		
		芦別市木質バイオマス利用促進事業	林地残材、河川支障木、製材工場端材等から木質チップ燃料を製造し、芦別温泉が立地する健民センター施設群に木質チップボイラーを導入。		
	赤平市	ウォームビズの実施	10月～3月		
		クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
	三笠市	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
		一般廃棄物生ごみバイオガス化	生ゴミを分別収集し、バイオガス化を図り、広域廃棄物処理施設で消費する電力の一部を賄う。		
	滝川市	省エネに関する情報提供	小学校や一般市民を対象とした出前講座等を開催。省エネに関する冊子を作成し、広く配布。		
		クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
		ウォームビズの取組	11/1～4/30まで実施		
		ライトダウン運動の実施	市役所庁舎の照明を午後8時に一斉消灯。(6月21日、7月7日に実施)		
		廃油回収	事業所・住宅から廃油を回収・持ち込んでいただき、廃油を精製市内公共施設におけるボイラー燃料として利用		
		住宅用太陽光発電設置補助金	新たに太陽光発電システムを設置する滝川市民へ補助		
		グリーン購入への取組	全庁で使用する共通用品へ、グリーン購入を取り入れ		
		ノ残業デーの実施	毎週水曜日に実施		
		照明の消灯	昼休み時間の完全消灯(窓口以外)、電灯の本数を少なくする。		
		COOL CHOICEでエコたき日記	市内小学生全員を対象に、地球温暖化について、楽しく学べる「エコたき日記」を夏休みと冬休みの2回実施した。なお、日記には滝川西高校美術部が作成した「エコたき普及キャラクター」のぬり絵を添付し、休み明けに回収したぬり絵を市立図書館に展示した。その際、同時開催としてウォームビズの展示も行った。		
		地球温暖化防止活動普及大使	國學院大學北海道短期大学部で教員を目指す学生を対象に、地球温暖化防止活動普及大使を育成し、普及大使が講師となって小学生へ環境教育授業を行った。		
		環境学習リーダー育成講座	市内の高校に通う学生を対象に、環境学習リーダー育成講座を実施。講座を受講した高校生は市内の児童センターなどで子ども達へ環境教育を実施する。		
		自動車学校と連携した「エコドライブ」普及・啓発	空知自動車学校と連携し、毎週3回実施する卒業講習での「エコドライブ」講習並びに登録者数1,000名を超えるメルマガ登録者へ月2回「エコドライブ」をテーマにしたメール配信を実施		
		高齢者を対象とした「エコドライブ」の普及・啓発	空知自動車学校で毎日実施している高齢者講習会で「エコドライブ」を取り入れた安全運転の普及・促進を実施		
		砂川市	防犯灯設置費補助事業	町内会等が所有する防犯灯をLED灯に取替えた場合	
	住宅用太陽光発電システム導入費助成事業		住宅用太陽光発電システムの設置者に対する補助(補助率10～20%)		
	市施設節電対策		市有施設で使用した電気量を把握し節電意識の向上に役立てる		
	サマースタイルの実施		6/1～9/30まで実施		
	歌志内市	ノ残業デーの実施	毎週水曜日に実施		
		ノ残業デー	毎週水曜日設定し、職員に呼びかけ		
	深川市	クールビズ・ウォームビズの実施	取組みを実施し、電気・暖房費の削減に努める		
		クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
	南幌町	環境家計簿モニター登録事業	モニター登録市民から、家庭でのエネルギー使用量を報告いただき、CO ₂ 排出量を集計・分析		
		住宅用ハレットストップ設置補助事業	購入金額の1/2の補助金交付(10万円を限度)		
		ノ残業デー	毎週水曜日設定し、職員に呼びかけ		
ノマイカーデー		毎週水曜日設定し、職員に呼びかけ			
クールビズの取組		5/1～9/30まで実施			
奈井江町	ウォームビズの取組	11/1～4/30まで実施			
	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
奈井江町	役場庁舎における照明の消灯	昼休み時間の消灯、日中の窓際照明の消灯			

振興局	市町村名	その他				
		事業名	事業概要	H30実績	摘要	
① 空知	上砂川町	クールビズの取組み	6/1～9/30まで実施			
	由仁町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
	長沼町	クールビズの取組	6/1から9/30まで実施			
	栗山町	街路灯設置等の補助	LED化6割以内補助(上限5万円)			
		住宅用太陽光発電システム設置費補助	1kw当たり4.8万円補助(上限21万円)			
		クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
		資源リサイクル	プラスチック類、缶・びん・ペットボトル、紙類、鉄類・金属、わりばし類、ガラス・陶器類、電池・電球・蛍光灯のリサイクル			
		家庭などの生ごみなどを原料として発酵した堆肥(カビット)販売	300円/袋(10kg)・5,000円/m ³ 町民限定			
		再生可能エネルギー等導入促進事業	再生可能エネルギー等を導入する事業所等に対し、設備の設置に要する経費の補助			
		再生可能エネルギー等活用新規事業	再生可能エネルギー等を活用し新たな事業展開により経営の多角化等を図ろうとする事業所等に対し、新規事業に要する経費の補助			
	ノーマル作業の実施	毎週水曜日を設定し、職員に呼びかけ				
	庁舎内節電の取組	昼休みの消灯・照明本数の減				
	月形町	クールビズの取組み	6/1～9/30まで実施			
		木質ペレットストーブ等導入補助金	ペレットストーブ及びペレット燃料購入補助	3件		
		あんしん住宅補助金	太陽光発電システム設置工事に対する補助			
		街灯設置補助	町内会等で設置する街灯設置補助	14件		
	浦臼町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
		廃油回収	事業所・住民から廃油を回収・持ち込んでいただき、廃油を精製し町営バスや給食車のディーゼル燃料として利用			
		太陽光発電システム設置費補助	太陽光発電システム設置にかかる経費の一部を補助 工事費が50万円以上のもので、その30%に相当する額(上限300)			
	新十津川町	クールビズの取組	6/1～9/30			
	妹背牛町	住宅用太陽光発電システム設置補助事業	発電システム設置にかかる補助			
		防犯灯設置費助成制度	3/5助成 限度額18000円			
		クールビズの取組	5/7～9/30			
	秩父別町	クールビズの取組	6/1～9/30			
	雨竜町	クールビズの取組				
	北竜町	住宅用太陽光発電システム設置補助事業	発電システム設置にかかる補助			上限額21万円
		クールビズの取組	5月下旬～9月30日まで実施			
沼田町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施				
	新時代農業経営高度化支援事業	雪を使った作物栽培に対する設備投資への支援 補助率 8割以内 限度額 1,500千円				
② 石狩	札幌市	エコドライブ指導者養成講習会	企業内でのエコドライブ推進・指導に必要な技能を習得する講習会	23事業所26人が参加	JAFエコドライブ制度を活用	
		次世代自動車導入促進事業	・市民・事業者への次世代自動車・燃料供給設備導入に対する補助	・次世代自動車90台、V2H1台に対して補助	H23～毎年度補助対象車種や補助額を変更	
		エコドライブ活動サポートプロジェクト	企業のエコドライブ活動定着のため、エコドライブ診断機器の貸出や講習会等を実施	51事業所が参加		
		エコドライブ効果体験会	シミュレーターで手法、効果を体験する講習を大型商業施設等で開催	344名が参加	イオン北海道、環境広場さっぽろほか	
		次世代エネルギーパーク推進事業	円山動物園における新エネルギー普及啓発拠点整備		南幌中、発寒中の生徒(計55名)へ出前講座にてエネルギーパークの解説	
		分散型エネルギー導入推進事業	市有施設への太陽光発電の設置		澄川小、石山緑小、茶西小、市民交流プラザに太陽光パネルを設置	
		エネルギー対策体系化事業	施設所管部・工事担当部は要綱に基づき市有施設の省エネ推進・新エネ導入に努めるとともに、エネルギー担当部は技術情報の提案を行う。	市有施設の施工工事について18件の提案を行った。	H20～実施、H24以降も取組は継続中	
		札幌・エネルギーecoプロジェクト	市民・事業者等の新エネ・省エネ設備導入に対する補助	市民向け：1,090件、中小企業等向け：72件、マンション管理組合向け：52件の補助	H22、H23は地域グリーンニューデール基金事業に含む。	
		札幌版省エネ社会実現事業	中小企業等に省エネ講習会を実施	省エネセミナーはWEBでの公開、技術講座は29名が受講		
		太陽光発電推進マッチング事業	屋根及び遊休地の所有者と発電事業者とのマッチング	実施したがマッチング実績はなし		
		夏休み・冬休みエコライフサポート	環境配慮行動を呼び掛け、実践してもらう小学生用のエコライフポスターの配布、回収	夏冬合計250,815人		
		家庭のうちエコ診断	市民モニターを募集し、診断を実施	333件		
		家庭の消費電力量見える化機器の貸出事業	消費電力量をモニター表示できる機器の貸出により、各家庭における更なる節電を推進	2世帯		
		家庭向け省エネ・節電総合相談窓口事業	ソファ面での節電や省エネのほか、高効率機器をはじめとした省エネ家電等のハード面にも対応した総合的な相談窓口を設置	38件		
		環境広場さっぽろ	産学官民が日頃の環境の取組や最新の環境技術を紹介する総合環境イベント(2日間開催)	来場者延べ25,536人		
		さっぽろキャトルナイト	夏至の消灯呼びかけを中心に、6月上旬から7月上旬まで関連イベントを実施	116企業・団体が参加		
		さっぽろ環境賞	環境保全に貢献する個人、企業及び団体を表彰	第10回、市民・団体部門3件、企業部門2件表彰		
		さっぽろエコスタイル	特に冷暖房の負荷が大きくなる夏期、冬期において、空調温度管理の徹底により、市役所の事業活動に伴う電力等のエネルギー使用量の削減を図る。	・H30クールビズ 5.10～9.30 ・H30ウォームビズ 11.1～3.31		

振興局	市町村名	その他				
		事業名	事業概要	H30実績	摘要	
② 石狩	札幌市	Think Green	次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市「環境首都・SAPPORO」を推進するための啓発を実施	コンセプト・マーク等の作成		
	江別市	環境教育等推進事業	小学校向け、一般市民向け等の各種環境教育の実施			
	江別市	環境マネジメントシステム事業	省エネ管理システムの運用(H23から導入)と環境経営普及セミナーの実施(H19から実施)			
		クールビズの取組	6/1～9/30までの実施			
		ウォームビズの取組	11/1～4/30まで実施			
		ライトダウンキャンペーン	消灯呼びかけを中心に、夏至(6月下旬)からクールアースデー(7月上旬)までキャンペーンを実施			
		省エネ診断の受診	一定規模の市有施設において、省エネルギーセンターの無料省エネ診断を受診			
		節電の取り組み	国や北電の要請を受け、全庁的に節電の取り組みを実施			
		小型家電回収	市内6カ所の公共施設で使用済み小型家電を回収			
	千歳市	徒歩通勤	6/1～9/30まで実施			
		夏季の軽装化	6/1～9/30まで実施			
		「ECOちとせ」認定制度	簡易型の環境マネジメントシステム認定制度を設け、中小事業者などの産業部門への環境配慮の取組の普及拡大を図る。			
		国の気候変動キャンペーン「Fun to Share」普及啓発事業	市民、事業者へ「Fun to Share」の普及啓発を実施			
		節電の取り組み	7/1～9/30、12/1～3/31の期間、節電の取組を実施			
	恵庭市	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
		ウォームビズの取組	11/1～3/31まで実施			
		環境・エネルギーに関する展示の開催	環境・エネルギーに関するイベントを実施			
		電気自動車活用事例創発事業(参加)	日産自動車主催の同事業にて電気自動車を無償借受			
	北広島市	低炭素まちづくり促進事業補助金	太陽光発電システムや木質バイオマスストーブ等の設備を設置する方に補助金を交付			
		省エネルギーシステム設置補助事業	①潜熱回収型ガス給湯暖房機 ②CO ₂ 冷媒ヒートポンプ ③潜熱回収型石油ボイラー ④潜熱回収型ガス給湯器 ⑤ヒートポンプ温水暖房システム ⑥ハイブリッド給湯暖房機 ⑦上記のほか、同等の機能及び性能を有するものと認めるもの ⑧ヘルトストーブ ※①～⑦ 30,000円、※⑧ 50,000円	36件		
		ノーマイカーデー	毎月第3週に設定、職員に呼びかけ	12回		
		クールビズの取組	6/1～9/30まで実施	1回		
		生ごみのバイオガス化	バイオガスを燃料として利用			
		エコワットの貸出	市民への簡易電力量計の貸出			
		節電キャンペーン	電気使用量を削減した市民に記念品を贈呈			
		北広島環境ひろばの開催	市民・事業者・行政による環境イベント	1回		
		太陽光発電システム設置事業補助金	1kwあたり5万円(上限15万円)	13件		
		石狩市	eco なびステーション in 石狩	温室効果ガスの排出を抑制するための取り組み方法を市民や事業者で紹介するため、北海道グリーンファンドと共催で①エコッキング、②再生可能エネルギーセミナー、③省エネ・新エネルギーに関するパネル展、④エネファーム、ガスマイホーム発電や高効率ガス機器の展示を行った。		
	クールビズの取組		6/1～10/2まで実施			
	冬期間の室内温度を維持する取組		職員の本庁舎出入口の利用制限(職員通用口及び正面玄関(手動ドア)の利用奨励) 11/11～3/31まで実施			
ノー残業デー	毎週水曜日 定時で業務を終了する取り組み					
あいろんど厚田 環境フォーラム「森と海、そして緑。」の開催	地球温暖化対策や森づくりの必要性に関する普及啓発に合わせ、いしかりJ-VERの認知度向上等を図った。				道の駅石狩あいろんど厚田 環境フォーラム実行委員会	
当別町	クールビズの取組		6/1～9/30まで実施			
	地域コミュニティバス運行		BDFを燃料とした地域コミュニティバスの運行			
	LED街灯の設置補助		町内会が設置する街路灯に対する補助にLED街灯を追加			
	木質ヘルト製造実証事業		町産材を活用した木質ヘルト製造実証事業			町有林材を活用し木質ヘルトの製造及び成分分析を実施
新篠津村	エネチャレンジ事業		各家庭の節電の取組や子どもたちの創意工夫によるアイデアを募集し、省エネの取組推進、環境負荷の軽減及び町内における環境意識の向上を図る事業			一般部門及びキッズ部門を実施
	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施				
③ 後志	小樽市	クールビズの取組	6/1～9/30までクールビズを実施			
		「環境にやさしいエコアクション・プログラム」の配布	CO ₂ を削減するための取組をまとめたパンフレットの配布(一般家庭向け)			
		「おたるエコガイド」の配布	CO ₂ を削減するための取組をまとめたパンフレットの配布(事業者向け)			
		公共施設における照明の消灯	執務室において、昼休み時間の消灯(業務や防犯・安全上、実施困難な職場、施設を除く)			
		省エネナビ及びエコワットの貸出	希望する市民への貸出			
環境パネル展の開催	毎年6月の環境月間中の行事として、環境活動の普及啓発を目的としたパネル展を市役所内の渡り廊下で実施	1回				

振興局	市町村名	その他			
		事業名	事業概要	H30実績	摘要
③ 後志		出前講座の実施	市民、事業者の環境保全への意識向上を目的とし、希望に応じて2種類の出前講座を実施		
		ノーマル・ノーマル・ノーマルの実施	毎週水曜日にノーマル・ノーマルを実施。また、夏至と七夕のCO ₂ 削減/ライトアップキャンペーンにあわせてノーマル・ノーマル・ノーマルを実施		
		ガス cromatography 質量分析計におけるエコロジーモード採用	機器待機時の消費電力を1.8kwhから0.58kwhに削減	46日間 延べ1104時間	
		COOL CHOICE推進事業(①交通広告による啓発活動)	バスラッピングおよび公共交通機関でのポスター掲示	バス1台、ポスター6箇所	
	小樽市	COOL CHOICE推進事業(②市内小学生向けパンフレット)	小学生向けパンフレットを全児童に配布	4354部配布	
		COOL CHOICE推進事業(③その他普及活動)	普及啓発パンフレット、新聞広告、ポスター、タウン誌の作成および配布	67000部配布	
		COOL CHOICE推進事業(④省エネ機器の買換促進等普及啓発)	省エネ機器の買換促進、エコカー、省エネ住宅の普及促進のイベントを実施	動員数319	
		COOL CHOICE推進事業(⑤環境セミナー)	外部講師による講演	動員数59	
		植樹活動	村有無立木地への植樹		
	島牧村	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
		LED防犯灯設置事業	交換時期に取替設置		
		ウォームビズの取組	11/1～4/30まで実施		
		役場庁舎の昼休み消灯	正午～午後1時は役場庁舎内を消灯		
	寿都町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
		役場庁舎の昼休み消灯	正午～午後1時は役場庁舎内を消灯		
	黒松内町	クールビズの取組	6/1～9/31まで実施		
		住宅用太陽光発電設置に対する補助	太陽光発電設置に係る総工事費の2割以内を補助		
	蘭越町	断熱改修や太陽光発電システム等導入補助	断熱改修や住宅用太陽光発電システム又はパネルトップを施工する者等に対し、設置又は改修費用の一部を補助		
		クールビズの取り組み	6/1～9/30まで実施		
		リフレッシュデー	毎月10日、25日は午後7時までに業務を終了する取り組み		
	ニセコ町	役場庁舎の昼休み消灯	正午～午後1時は役場庁舎内を消灯		
		省エネ診断	町内4箇所の公共施設の省エネ診断		(一財)省エネルギーセンターに依頼
		住宅省エネルギー改修補助事業	省エネルギー改修工事(30万円以上)を行う人に対して、その金額の20%(上限30万円)の補助金交付		
		クールビズの取り組み	通年を通してクールビズに準じた働きやすい服装で勤務		
		マイクロ水力発電機一般向け貸出	町が保有するマイクロ水力発電機を個人等へ貸出を行う。		
		環境講演会	環境講演会「万人のための持続可能なエネルギー」		
		新電力会社へ契約移行	役場庁舎等10公共施設について、町内水力発電からのエネルギー供給を受ける新電力会社に契約移行		
		観光事業者向け省エネ・環境勉強会	北海道経済産業局と共催で、CO ₂ 排出量の多い観光事業者向けにエネルギー管理や省エネルギーの進め方について勉強会を開催		
		複合機の省エネ利用	環境配慮機器の導入、両面印刷や複数ページまとめて印刷、ミソリット防止策、機器の省エネ設定		
		事務用品の再利用	事務用品再利用の推奨		
	真狩村	クールビズの取り組み	6/1～9/30まで実施		
		ノーマル・ノーマル・ノーマル	毎週水曜日設定し、職員に呼びかけ		
		役場庁舎の昼休み消灯	正午～午後1時は役場庁舎内を消灯		
		エコマークとグリーン購入法特定調達品目の製品の購入促進	物品等の購入の際に環境に配慮した商品を選択		
		植樹活動	真狩村開基120周年記念植樹 真狩川河川公園「開基百年記念塔」区域 エゾヤマ桜20本 羊蹄山自然公園 アカエノマツ600本・カツラ20本		
	留寿都村	植樹活動	羊蹄山自然公園 大山桜50本		
		クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
	喜茂別町	クールビズの取組	6/1～9/30		
		昼休み消灯	正午～午後1時まで		
	京極町	クールビズの取組	6～9月に実施		
ノーマル・ノーマル・ノーマル		毎週水曜日定時に業務を終了する取り組み			
役場庁舎の昼休み消灯	正午～午後1時は役場庁舎内を消灯				
	クールビズの取り組み	6/1～9/30まで実施			
倶知安町	可燃ごみの固形燃料化				
	LED街路防犯灯の設置補助	町内会等が設置するLED街路防犯灯に対する補助			
共和町	クールビズの取り組み	6～9月に実施			
	ノーマル・ノーマル・ノーマル	第1水曜日を定時退庁日と位置づけ事務所内における夜間照明の低減を図る。			
岩内町	LED防犯灯設置助成事業	町内会が設置・管理する防犯灯のLED化に対する補助			
	クールビズ・ノーマル・ノーマル・ノーマル	クールビズ実施6/1～9/30に実施し冷房使用を抑制 毎週水曜日をノーマル・ノーマル・ノーマルと定め定時退庁を促し節電を図る			

振興局	市町村名	その他					
		事業名	事業概要	H30実績	摘要		
	泊村	クールビズの取り組み	6/1～9/30まで実施				
	神恵内村	神恵内村庁舎照明設備改修事業	庁舎照明設備のLED化				
	積丹町	ノー残業デー	毎週水曜日設定し、職員に呼びかけ				
	古平町	クールビズの取り組み	6月から9月				
③ 後志	古平町	住宅リフォーム支援補助金	修繕の際に自然再生可能エネルギー機器を用いることで、リフォーム工事に要した費用の額の3割を補助(上限30万円)	2件			
		クールチョイスへの賛同	クールチョイスロゴマークを使用しての庁内啓発				
		省エネ性能表示制度の取得	古平町中心拠点誘導複合施設の設計案におけるBELSの認証及びZEB Ready取得				
	仁木町	クールビズ・定時退庁の取組	・クールビズ実施6/1～9/30 ・毎週月曜日(H27から毎水曜を追加)を定時退庁日と位置づけ事務所内における夜間照明の軽減を図る				
		クールビズ・ウォームビズの取組	6/1～9/30までの実施				
	余市町	ごみの排出抑制の推進					
		庁舎昼休み消灯	午後0時～午後0時45分				
	赤井川村	クールビズの取り組み	6月1日から9月30日まで実施				
昼休み消灯		12時～13時					
④ 胆振	室蘭市	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施				
		交通エコロジー教室	市内小学校において5年生を対象に地球温暖化対策と公共交通機関利用等との関係などを学ぶため、模型実験やカードゲーム、電気自動車と燃料電池自動車の紹介と電気自動車の模擬充電体験、ハイブリッドバス試乗体験等を実施。	4校で実施	室蘭市リサイクル協働市民協議会、北海道運輸局と共催		
		ワットワーマーター展示、貸出	ワットワーマーターの市公共施設への展示、市民への無料貸出	市公共施設2施設に展示、エコライフ街頭啓発では市内1店舗に展示。			
		エコライフ街頭啓発	クールチョイス啓発パンフ等の配布、ワットワーマーターの展示、エコドライブシミュレーター、着ぐるみくじらん、EV・FCVの展示等	市内1店舗の店頭で実施	室蘭市リサイクル協働市民協議会と共催		
		エコチャレンジ通勤	毎月1日以上参加することを職員に呼び掛け、集計	通年で自家用車通勤者に対し実施を呼びかけ強化月間の6月のみ集計			
		環境家計簿エコライフ☆チャレンジ	市民を対象に12～2月の間、環境家計簿をつけ、基準月の12月と比較してもらうモニター制度を実施	21世帯(47名)が参加			
		市内工場等への周辺環境整備の協力依頼	施設の点検、環境整備、緑化の推進等を文書により協力依頼	環境月間に合わせて実施			
		公共施設省エネルギー化推進事業	公共施設の照明設備の省エネ化、ボイラー配管の省エネ対策を計画的に実施	公共施設の照明設備の省エネ化、ボイラー配管の省エネ対策を計画的に実施			
		電気自動車活用啓発事業	公用車として導入した電気自動車を環境啓発事業に活用し、家庭での自動車走行からのCO ₂ 削減意識や、次世代自動車への関心を高め、環境意識向上を図る。	エコライフ街頭啓発で電気自動車を展示、電気自動車の試乗体験会を1回開催。庁内シェア活用。			
		室蘭グリーンエネルギータウン構想	水素エネルギーをはじめとするグリーンエネルギーの活用を推進する構想を策定、シンポジウムを開催。				
		グリーン水素ネットワークモデルプロジェクト実行計画の策定	「室蘭グリーンエネルギータウン構想」に定めたモデルプロジェクトの一つである「グリーン水素ネットワークの構築」を計画的に実施するため、個別のアクションプランとして実行計画を策定。				
		燃料電池自動車貸出事業	公用車として導入したFCV(H30 MIRAI)を市内法人へ貸出し、水素利用を身近に感じてもらうことで、水素社会への啓発を図る。				
		④ 胆振	苫小牧市	ヘルメット設置費補助	価格の1/2、上限10万円		
				エコ通勤(ノーマイク)	市職員がマイカー通勤を自粛		6月の環境月間に実施
エコ通勤(エコドライブ)	市職員がエコドライブに努める。				6月の環境月間に実施		
エコドライブ宣言・エコオフィス宣言募集	市民、事業者を対象に宣言者を募集し、ステッカーを配布			5,250名 384事業所			
苫小牧市住宅用太陽光発電システム設置費補助金	1kW当たり4万円の奨励金交付(上限額12万円)			35件			
クールビズの取組	6/1～9/30まで実施						
わが家の節電コンテスト	100世帯の市民を募集し、昨年度と本年度の電気使用量から削減率等で比較し、上位世帯を表彰			29世帯参加			
電気使用量測定器貸出し	市民に電気使用量測定器(コワット)を無料貸出し			3件			
エコドライブのすすめ	市職員がエコドライブに努める。				6月の環境月間に実施		
エコドライブ情報局	エコドライブシミュレーターを用いてエコドライブの体験、JAFのインストラクターを講師としたエコドライブの座学などの実施。			全7回 129名参加			
CO ₂ 削減出前講座開催	町内会を対象(H21:81の町内会を対象に開催済(町内会数86))						
出前講座(地球温暖化防止の取組)	希望する団体を対象に開催			1件			
「環境エコ短歌&なぞかけコンクール」	環境に関する「短歌」と「なぞかけ」を募集し、入賞作品を選考、入賞者には賞状と副賞を贈呈し、作品は環境関連刊物や環境関連啓発事業で使用。						
電気使用量測定器・テジナル燃費計貸出し	電気使用量測定器及びテジナル燃費計を無料貸出し			2件			
ノー残業デーの取組	給料日・手当日・毎週水曜日に実施						
クールビズの取組	6/1～9/30まで実施						

振興局	市町村名	その他			
		事業名	事業概要	H30実績	摘要
	登別市	子ども環境家計簿の取組	夏・冬休み中に市内小学生が「子ども環境家計簿」を作成、集計結果を公表	夏・冬休みの2回実施	
		小学生による環境ポスターの募集	市内小学生を対象に環境ポスターを募集、優秀作品を選考し、表彰式と展示会を開催	応募:243点 受賞:22点	
		環境講演会の開催	温暖化対策等、環境保全に関する講演会を開催	1月12日実施、参加者:約50名	
		アイトリングストップの啓発	電気自動車(公用車)の導入、庁舎内及び駐車場にアイトリングストップ啓発看板を設置することにより、自動車走行におけるCO ₂ 削減		
	伊達市	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
		こどもエコ川柳の募集	市内9小学校(4～6年生)を対象に冬休みの課題として、家族と一緒に環境問題やエコについて考え、川柳を詠むことにより環境に対する意識啓発を図る。	応募数:528句 応募児童数:527人	市内公共施設、大型店等に作品展示
		環境家計簿の提供	ホームページ等により、環境家計簿の配布を実施		
		防犯灯設置費補助事業	LED防犯灯を設置(新設・更新・改良)する自治会等に対して、6万円を上限として補助金を交付	170灯 (3,371,952円)	(内訳) 新設:13 改良:157
	豊浦町	クールビズの実施	6/1～9/30まで実施		冷房温度の管理 夏季軽装
		ノ残業デー	毎週水曜日には定時に業務を終了する取組		
		ノマイカー通勤	職員の車通勤を奇数日・偶数日に分け実施		
		ウォームビズの実施	11/1～3/31まで実施		暖房温度の設定
	豊浦町	役場庁舎等での照明消灯	昼休み時、来客スペース以外消灯		
		クールビズ・ウォームビズの実施	6/1～9/30・11/1～3/31 各実施		
		電力削減	庁舎等の昼休み照明器類消灯・エアコンの休止等		
		クールビズ・ウォームビズの実施	6/1～9/30・11/1～3/31 各実施		
	壮瞥町	電力削減	庁舎等の昼休み照明器類消灯等		
		クールビズ・ウォームビズの実施	6/1～9/30に実施 取組みを実施し、電気・暖房費の削減に努める		
		省エネの取組	細かな消灯の実施、未使用時パソコンの電源オフの徹底などに努める		
		資源リサイクル	紙・雑誌・ダンボールのリサイクル		
	白老町	エコ製品の購入促進	グリーンマーク・エコマークの製品の購入に努める		
		住宅太陽光発電システム設置補助	国が定める基準にあった住宅用の太陽光発電システムの設置の場合町より補助金		
		ハレットストーブ購入費補助	木質ハレットを燃料とするストーブを購入する場合町より補助金		
		クールビズの実施	6/1～9/30まで実施		
	厚真町	公共施設における照明の消灯	昼休みの消灯・照明本数の減		
		植樹活動	カラマツ・コナラ・クロマツ等町内2カ所に植樹		
		クールビズの実施	6/1～9/30まで実施		
		住宅用太陽光発電システム設置補助事業	導入経費の助成(1kwあたり3.5万円、上限14万円)	2件	H30年度にて終了
	洞爺湖町	クールビズの実施	6/1～9/30まで実施		
		クールビズ・ウォームビズの実施			
		住宅用太陽光発電システム設置補助	導入経費の助成(1kwあたり7万円、上限20万円)		
		ハレットストーブ購入費補助	導入経費の助成(導入経費の1/2、上限20万円)		
	安平町	クールビズの実施	6/1～9/30まで実施		
		公共施設における照明の消灯	昼休みの消灯、蛍光灯本数の削減		
		トイレ便座通電の抑制	6/1～9/30までのトイレ便座通電の中止		
		事務用紙の節減	裏面使用の徹底、両面使用済みはリサイクルへ		
	むかわ町	自動ドアの使用抑制	職員は自動ドアを極力使用しない。		
		公用車のエコドライブの啓発	急発進を行わないことや、タイヤの空気圧の適正管理の啓発を行う。		
		カーボンマネジメント研修の実施	役場職員研修会において、クールチョイスやカーボンマネジメントについて研修を行なう。		
		クールビズの実施	6/1～9/30まで実施		
	日高町	ノマイカーデー	毎週金曜はノマイカーデーとして自家用車の自粛		
		ノ残業デー	毎週金曜に実施。		
		LED照明購入補助金	LED電球・蛍光灯・照明器具の購入に対して補助金を交付する。		
		クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
	新冠町	クールビズの実施	6/1～9/30まで実施		
		ノマイカーデー	毎週金曜はノマイカーデーとして自家用車の自粛		
		ノ残業デー	毎週金曜に実施。		
		LED照明購入補助金	LED電球・蛍光灯・照明器具の購入に対して補助金を交付する。		
	浦河町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
		ノ残業デーの取組	毎週金曜日実施		
	樺皮町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
		不在時のパソコンのふた閉じ励行	年中		

振興局	市町村名	その他				
		事業名	事業概要	H30実績	摘要	
		昼休中事務室の蛍光灯の消灯	年中			
		公用車の入れ替え時には、低燃費車へ				
		クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
	えりも町	資源リサイクル活動奨励補助	紙類・空瓶類・アルミ缶・その他金属類	22件		
		防犯街路灯設置補助	自治会で設置する防犯灯 3/4補助	9件		
⑤ 日高	新ひだか町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
		ノー残業デーの取組	毎週水曜日実施			
⑥ 渡島	函館市	エコライフ普及キャンペーン	はこだてエコライフの啓発リーフレットの配布等の実施	1,350部配布		
		温暖化防止市民講座	地球温暖化の現状や対策等に関する講演会を実施	1回,167人		
		出前講座	地球温暖化の現状や対策等に関する出前講座を実施	6回,136人		
		節電チャレンジモニター	2種類の電力測定器を2か月間貸出して節電に取り組むモニター事業を実施	2回, 延べ19世帯		
		クールビズの取組	6/1～9/30まで実施	—		
		街路灯設置費補助金	町会等が設置するLED街路灯の助成 補助金額:設置費の10分の8.5	1,875灯 59,082千円		
		住宅リフォーム補助金	補助対象:既存住宅の断熱化,バリアフリー化,耐震化 補助金額:補助対象額の20%以内	70件 13,295千円	実績はバリアフリー化,耐震化を含む	
		住宅用太陽光発電システム設置費補助金	1kW当たり 3万円の補助金交付(上限は3kW 9万円)	43件 3,875千円		
		太陽光発電事業等を行う民間事業者に対する市有地の貸し	遊休市有地に市内民間事業者が太陽光発電施設を設置 (H25.9月稼働開始,出力 818.18kW)	—		
	北斗市	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
		住宅用太陽光発電システム設置補助	市民に対し,1kWあたりの単価15,000円または20,000円で補助金交付(上限4kW(6万円または8万円))			
		照明の消灯	一部部署において庁舎内における照明の消灯(窓付近,昼休み時間の消灯)			
	松前町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
		ノー残業デー	毎週水曜日は定時に業務を終了し節電を図る			
		花の植栽運動(花いっぱい運動)	街に花を植栽し,地球温暖化防止,環境美化等を図る。			
		集中節電期間の取組	7/1～9/30までを集中節電期間とし,自然換気,自然光等を利用し節電。			
			町内会LED街灯取替補助事業	町内会所有街灯を,LED街灯に取替する費用を補助		
	福島町	クールビズの取組	6/1～10/30まで実施			
		ノー残業デーの実施	通年金曜日実施			
		ノー残業デーの実施	通年水曜日実施			
	知内町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
		資源リサイクル	紙・雑誌・ダンボール・封筒類・空缶のリサイクル			
	木古内町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
	七飯町	ノーマイカーデー	毎月第3水曜日には,徒歩,公共交通機関を利用し,通勤する取組			
		ノー残業デー	毎月第3水曜日には定時に業務を終了する取組			
		クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
		庁舎内照明昼休み時間消灯	周年			
	鹿部町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
	森町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
	八雲町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
	長万部町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
		庁舎冷房の周年停止	周年			
		庁舎内照明昼休み時間消灯	周年			
街路灯設置補助		町内会管理LED街路灯設置への補助				
		COOL CHOICE	COOL CHOICE 賛同			
⑦ 檜山	江差町	クールビズの取組	6月～9月まで実施			
		役場庁舎の昼休み消灯	正午～12時45分まで役場庁舎内を消灯			
		植樹,育樹活動	町,各団体等による植樹・育樹活動の実施			
		街路灯設置補助	町内会管理LED街路灯設置への補助			
	上ノ国町	クールビズの取組	5月～10月まで実施			
	厚沢部町	クールビズの取組(ノーネクタイ)	6月～9月まで実施			
		ウォームビズの取組	11月～4月まで実施			
	乙部町	クールビズの取組	6月～9月まで実施			
	奥尻町	クールビズの取組	6月～9月まで実施			
	今金町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
		クールビズの取組(ノーネクタイ)	6/1～9/30まで実施			

振興局	市町村名	その他			
		事業名	事業概要	H30実績	摘要
	せたな町	ノーマル作業の取組	毎週水曜日に実施		
		廃食用油回収再生事業	第2・第4木曜日に回収		
		風力発電事業		2,810.721KWH	
		アイトリングストップの協力要請	事業所内駐車場におけるアイトリングストップの協力要請		
⑧ 上川	旭川市	地域エネルギー設備等導入促進事業	市民が設置する再生可能エネルギー設備等への補助金交付	55件	
		エコ通勤の取組	5～9月の期間で庁内外に呼びかけ	11事業所参加	
		クールビズ、ウォームビズの取組	夏季軽装、冷暖房温度の管理など		
		ゼロエネルギー化推進事業(旧:地域エネルギー導入事業)	民間事業者を対象とした再生可能エネルギー(太陽光、地中熱、バイオマス、雪氷冷熱、小水力等)や省エネ性が高く高効率な空調、給湯、換気、照明、融雪、暖房などすべての利用機器を単体若しくは複数で整備することによって、一次エネルギー消費量をゼロに近づける事業に対する補助		
		環境学習バスター	地球温暖化対策や環境保全についての理解を深める親子向け環境学習イベント	1回	
⑧ 上川	旭川市	サイクル&バスライド	市内7ヶ所のバス停に駐輪所を設け、移動手段を自家用車から自転車・公共交通機関へ誘導する事を目的とした取組		
		Jクレジット制度の活用	市有施設及び個人住宅に設置した太陽光発電量をクレジット化し活用	2団体に提供	
		町内会防犯灯省エネ推進事業	町内会が設置する省エネ型防犯灯を新設・更新する費用を補助(LEDエムライトナトリウム灯)		
		COOL CHOICE事業	国民運動(COOL CHOICE)を受け、本市においても市民に向けた地球温暖化対策の取組を促す	イベント2回実施	
	士別市	クールビズの取り組み	6月1日～9月30日まで		
		防犯灯LED化事業	工事費5万円上限2/3	115件	
	富良野市	環境展での普及啓発	パネル展、ヘルメット等の展示		市民団体と共催
		クールビズの取組	6月～9月末		
		小水力発電支援に関する支援	小水力発電の導入検討や設置に要する各種手続き等について支援するとともに、市の小水力発電設備を環境学習において活用		
	鷹栖町	再生可能エネルギー導入促進補助金	ヘルメット本体の購入費の一部を補助 太陽光発電システム設置工事費の一部を補助		
		クールビズ	6/1～9/30まで軽装による勤務		
		照明の消灯	昼休み時間の完全消灯、電灯の本数を少なくする		
東神楽町	住宅用太陽光発電システム設置補助	住宅用太陽光設置工事費の一部を補助(上限20万円)	2件		
	クールビズ	6月～9月の間の夏季軽装			
	照明の消灯	昼休み時間の完全消灯、電灯の本数を少なくする			
	自動車の利用削減	電動自転車の導入			
当麻町	ガソリン代削減	電気自動車の導入			
	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
	ウォームビズの取組	11/1～3/31まで実施			
	照明の消灯	昼休み時間の完全消灯、電灯の本数を少なくする			
比布町	廃食用油回収および使用	廃食用油を資源物回収し、精製業者に廃食用油を売却し、精製されたBDFの一部を温浴施設(ヘルシーシャワー)で使用。			
	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
愛別町	住宅太陽光発電システム導入補助	住宅への設置に対する一部補助(上限額21万円)			
	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
上川町	クールビズの取り組み	6/1～9/30まで実施			
	上川町内防犯灯LED化更新補助事業	町内会が設置する防犯灯をLED化する費用を補助			
	住宅リフォーム等補助金	町内の住宅の省エネ・新エネ設備導入に対する補助事業			
	ノーマル作業	毎週水曜日実施			
東川町	国民運動「COOL CHOICE」への賛同	マイカー規制イベントでの地球温暖化対策運動の普及啓発			
	クールビズの実施	6/1～9/30まで実施			
美瑛町	クールビズの取組	6/1～9/30までクールビズを実施			
上富良野町	上富良野町生活灯設置整備補助	町内会設置の生活灯LED化に9割補助	7件		
	上富良野町住宅リフォーム等助成金	高断熱化・省エネ化・新エネの導入に対する補助	3件		
	環境対策促進事業				
中富良野町	上富良野小学校校舎新築	ヒートポンプと太陽光発電設備導入			
	太陽光発電設置補助事業	1KW当たり5万円の補助金交付	2件		
南富良野町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
	ノーマル作業 ナチュラルクールビズ 6月9日	毎週金曜日実施(節電)			
占冠村	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			

振興局	市町村名	その他			
		事業名	事業概要	H30実績	摘要
	和寒町	木質バイオマス導入促進事業補助金	薪ストーブ、薪ボイラー購入費の1/2以内(上限25万円) 薪ストーブ、薪ボイラー設置費の1/2以内(上限30万円)		
	剣淵町	クールビズの取組	6月1日～9月30日まで		
		庁内の省エネ	昼休み消灯、照明本数の減、電気給湯器低温設定		
⑧ 上川	下川町	環境モデル都市アクションプラン	木質バイオマスのエネルギー化		
		エコアクションポイント事業	環境配慮活動に対しポイントを付与し貯まったポイントを町内で使用可能な商品券と交換できるプログラム		
		快適住環境整備促進事業	高断熱、高气密等の住宅改修補助 太陽光発電設備補助		
		環境未来都市推進事業助成	町民が主体的に行う温暖化対策の取組みに対し助成を行う。		
		森林環境教育事業	未就学時から高校生を対象に一貫した森林環境教育がキョラムを実施		
		マイバック運動	マイバック運動を継続実施		
		BDF推進事業	廃食油を回収しBDFを製造、ゴミ収集車に活用		
		地域公共交通事業	乗合タクシーの運行		
		ノーカーデー	6月～9月まで、水曜日と金曜日の週2回実施		
	美深町	クールビズの取組み	6月～9月まで実施		
	音威子府村	クールビズの実施	6月～9月まで実施		
		公共施設における照明の消灯・減灯	昼休みの消灯及び照明本数の減		
		クールビズの実施	6月1日～9月30日まで実施		
	中川町	公共施設における照明の消灯・減灯	昼休みの消灯及び照明本数の減		
		クールビズの実施	6月1日～9月30日まで実施		
		公共施設における照明の消灯・減灯	昼休みの消灯及び照明本数の減		
		クールビズの実施	6月1日～9月30日まで実施		
	幌加内町	クールビズの取組み	6月～9月まで実施		
	⑨ 留萌	留萌市	ノーマイカーデー	毎月、1日以上取り組むよう、職員に呼びかけ	
ノー残業デー			毎週水曜日を基本とし、職場の業務状況によっては他の曜日に取り組む。		
庁舎内照明の消灯			昼休み時の消灯		
クールビズの取組み			6/1～9/30まで実施		
ウォームビズの取組み			11/1～3/31まで実施		
レジ袋削減に向けた取組の協定			市内事業者と協定を締結し、レジ袋無料配布を中止し、マイバック持参率の目標を定める。		H20年9月にスーパ-4件とレジ袋有料化に関する協定締結
環境月間事業		環境月間に振興局と連携し、ハル展を開催するとともに、環境団体との共催で街頭啓発を実施。			
増毛町		クールビズの実施	6月1日～9月30日まで実施		
小平町		クールビズの実施	6月1日～9月30日まで実施		
		ウォームビズの実施	12月1日～3月31日まで実施		
苫前町		クールビズの実施	6月1日～9月30日まで実施		
		ウォームビズの実施	11月1日～3月31日まで実施		
羽幌町		役場庁舎における照明の消灯	昼休みの消灯・照明本数の減		
初山別村		クールビズの実施	6月1日～9月30日まで実施		
遠別町	クールビズの実施	6月1日～9月30日まで実施			
天塩町	クールビズの実施	6月1日～9月30日まで			
⑩ 宗谷	稚内市	環境都市宣言	環境に関する取組みをさらに進めるとともに、市民一人ひとりが環境に対する意識を一層高めるため、自ら参加・行動することを宣言し、その決意を内外に明らかにするため		
		ノーマイカーデー	温室効果ガス排出抑制のため、毎月1回実施		
		クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
		中間処理施設の建設	生ゴミ処理の過程において発生するバイオガスを回収し、バイオガス発電により施設運転の電力としようするほか、バック車の燃料として活用		
		街路灯設置助成	市内各町内会の防犯灯設置及び取替に係る費用の7割を助成し、LED化を推進		
		ウォームビズの実施	11月1日～4月30日		
第2次稚内市環境基本計画	環境都市宣言に示した行動に基づき、地球環境への負荷を低減した地域社会を実現し、市民がいつまでも健康でかつ安全に暮らせるまちを目指すもの。				

振興局	市町村名	その他			
		事業名	事業概要	H30実績	摘要
	猿払村	ファミリーエコ実態調査	全村民を対象に実施		
		3Rを通じたCO2削減の普及促進			
		クールビズの取組み	6月～9月まで実施		
		エコ運転啓発事業所訪問			
⑩ 宗谷	猿払村	新エネ・省エネ設備等導入促進補助制度	太陽光発電設備35万円・省エネ給湯機設備10万円・LED照明設備(一般)2.5万円(事業所)10万円・木質系燃料ストーブ購入5万円が上		
	浜頓別町	クールビズの取組	6月～9月		
	中頓別町	クールビズの取組	6月1日から9月30日まで		
		ウォームビズの取組	11月1日から4月30日		
	枝幸町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
	豊富町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
	礼文町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
	利尻町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
	利尻富士町	クールビズ・ウォームビズの実施	夏期間、冬期間		
	幌延町	クールビズの実施	6月1日～9月30日まで実施		
住宅用太陽光発電システム設置補助制度		住宅用太陽光発電システムの設置費の一部を補助			
⑪ オホーツク	北見市	住宅用太陽光発電システム導入費補助	市内の住宅に太陽光発電システム(2kW以上、10kW未満)を設置する市民に対し、定額6万円の補助、家庭用蓄電池(但し太陽光発電システムとの同時設置が条件)を設置する市民に対し、定額15万円の補助	29件(うち、蓄電池設置13件)	
		LED防犯灯設置費補助	設置費の4分の3以内(設置額が1灯44,000円を超える場合は44,000円を補助対象限度額)	312灯	補助対象:町内会(団体等)
		木質ヘルストープとボイラー導入補助	補助対象経費の2分の1以内で、ストーブ20万円、ボイラー100万円が上限額	ストーブ5件	
		クールビズ	6/1～9/30		
		新エネ省エネの普及啓発	出前講座や講演会の開催、市ホームページ上での啓発	セミナー開催 H31.2月	
		エコスクール事業	環境について学び、環境問題に対する市民の輪を広げていくことを目的とし、環境イベント等に参加	5回、延べ598名	
		公用車によるBDFの実用走行	家庭から収集された廃食油を原料としてBDFを製造し、軽油代替燃料として、公用車により実用走行	H30.5.7～H30.10.31 BDF1,487ℓ使用	
		レジ袋削減推進連絡会の設置及び連絡会加入者の募集	市内事業者や市民団体等と「レジ袋削減に向けた取組に関する協定」を締結し、広く広報活動を実施	広報紙へ啓発記事の掲載1回 環境系イベントで啓発資料の配布2回	
	網走市	ノーマイカーデーの取組(事業所)	市内の主要官公庁、事業所等による通勤車両自粛。毎月第3水曜日(6月期については毎週水曜日)に実施		H30
		ウォームビズの取組	11月12日～4月30日		H28～H30
	紋別市	レジ袋削減の取組	地球温暖化防止対策の一環としてCO2削減のため、市内スーパー3店舗と協定し、レジ袋削減の取組を行っている。		
		クールビズの取組	6/1～9/30 ノーネクタイ、ノー上着の軽装で仕事を行っており、特にオホーツクブルー色の軽装着用を呼びかけている		
		ノー残業デー	毎週水曜日に設定し、職員に呼びかけている		
		ノーマイカーデーの取組	毎週金曜日に設定し、職員に呼びかけている		
美幌町	BDF普及の促進	・町内のイベントにてBDFの展示を実施	・年2回展示		
	BDFの製造	・廃食用油からBDFを製造し、重機等に使用	・5月～11月		
	公共施設等における照明機器の消灯	必要箇所(窓口等)以外における昼休み時の照明機器の消灯	年間を通じて		
	木質ヘルストープ普及促進事業	住宅へのヘルストープの導入費用助成 購入経費の2/3(上限40万円)	5件 200万円		
津別町	クールビズ	6/1～9/30まで実施			
	ノーカーデー	6月～11月の第3金曜日に実施			
	緑の募金の森づくり	緑の募金を活用し、町有林に植樹を実施	トドマツ1号 560本		
	木質ヘルストープ導入支援事業	経費の2/3を補助(上限25万円)	1台 240千円		
斜里町	太陽光発電システム導入支援事業	4万円*kw、12万円のいずれか少ない額	2台 240千円		
	ノーマイカーデー	毎週1日設定し、職員に呼びかけ			
清里町	クールビズの取組	6/1～9/30			
	住宅用太陽光発電システム設置補助	住宅用太陽光発電システム設置に対し、最大出力1kwあたり7万円の補助金			
小清水町	クールビズの取組	6/1～9/30軽装による勤務			
	住宅用太陽光発電システム導入補助事業	1kwあたり6万円の補助金交付(限度額30万円)	1回		
訓子府町	クールビズ、ウォームビズ(冷暖房温度の管理、夏季軽装など)	5/11～9/30まで実施			
	太陽光発電システム導入事業補助	1kwあたり7万円の補助金交付(限度額28万円)			
	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
置戸町	ウォームビズの取組	11/1～4/30まで実施			
	住宅用太陽光発電システム設置費補助	1kwあたり7万円の補助金交付(限度額28万円)			

振興局	市町村名	その他			
		事業名	事業概要	H30実績	摘要
⑪ オ ホ ー ツ ク	佐呂間町	太陽光発電設置補助事業	1kW当たり3万円の補助金交付		
		クールビズの取組	5/14～9/30まで実施		
		ノ残業デー	毎週火・木の2日間一斉退庁		
	遠軽町	住宅用太陽光発電システム設置費補助金事業	1kW当たり30万円(新築)、1kW当たり10万円(既築)の補助金交付		
	遠軽町	ベレットストーブ購入費補助金事業	定額30万円の補助金交付		
		クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
	湧別町	クールビズ	町関係組織でのクールビズ実施(6月～9月)		
		グリーンエネルギー補助金	グリーンエネルギー補助金(個人住宅用の太陽光発電システム設置補助・上限66万円、ベレットストーブ上限30万円、エコキュート・エコフィール15万円)		
	滝上町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
	興部町	クールビズの取組	夏期間の軽装の励行		
		ウォームビズの取組	冬期間の効率的な暖房の使用		
		エコドライブの推進	公用車の燃料使用料削減の取組		
		公共施設における照明の消灯及び間引き	公共施設の電気使用料削減の取組		
	西興部村	住宅用太陽光発電システム設置費補助金	1kW当たり13万円の補助金交付、最大65万円	H25～実績8件	
	西興部村	庁舎内の照明消灯	昼休みの消灯、照明本数の減		
クールビズの取組		6/1～9/30まで実施			
雄武町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
	公用車の適正使用	適切な運行管理、長距離出張時の低燃費車使用			
	街路灯LED化整備事業	街路灯をLEDに改修			
大空町	ノ残業デー	7、8月中における毎週水曜日及び毎月の第3水曜日、月末の金曜日の一斉退庁(18時まで)			
	公共施設での夏季・冬季節電	夏季:7/1～9/30(平日 午前9時～午後8時、無理のない範囲で可能な限りの節電)			
	夏の軽装期間の設定(クールビズ)	実施期間 6/1～9/30			
⑫ 十 勝	帯広市	ノカーデー	毎月第一金曜日に通勤時の自家用車利用自粛		
		クールビズ	5/28～10/5軽装による勤務		
		出前環境教室の開催	地球温暖化防止などについて教室を開催	47件 1,754人	
		新エネルギー導入促進補助金	太陽光発電システム、ベレットストーブ、エコキュート、エコジョーズ、HEMS設置者に補助	太陽光:88件 ベレットストーブ:4件	
		太陽光発電システム導入資金貸付	無利子で最大10年間融資	6件	
	音更町	太陽光発電システム補助事業	経費の1/3以内、上限12万円	31件	
		ノマイカーデーの実施	環境週間に合わせ職員に呼びかけ	延べ182人 856km	3日間程度設定
		クールビズの取組	6/1～9/30		
		環境週間の設定及び取組	ハネル展等の実施、期間6/25～7/13		
		環境家計簿の作成	ハネル展等で配布、ホームページに掲載		
	士幌町	啓発パンフレット・チラシの作成	ハネル展等で配布		
		住宅用太陽光発電システム導入補助金	1kW5万円 4kWまで	4件	
		士幌町環境マネジメントシステム	町管理施設の省エネ等取組システム運用		ノマイカーデーなど
	上士幌町	クールビズ	6/1～9/30まで実施		
		クールビズ	6/1～9/30まで実施		
鹿追町	サマータイムの実施	6月～9月			
	クールビズの取組	6月～9月			
	ウォームビズの取組	11月～3月			
新得町	鹿追町住宅用太陽光発電システム導入費補助	町内の住宅に住宅用太陽光発電システムを新設する場合、システム設置経費の一部を補助	9件		
	公用車の台数削減	H22 1台、H23 2台、H26 1台			
	公用自転車の購入	役場3台、保健福祉センター1台			
	クールビズの取り組み	6/1～9/30まで実施			
	ノマイカーデーの実施	夏季のみ第2.4金曜日に職員に呼びかけ			
清水町	ノ残業デーの実施	毎週水曜日に実施			
	クールビズの取り組み	5/15～9/30まで実施			
芽室町	ノカーデーの取り組み	6～9月の第1金曜日をノカーデーとし、職員に呼びかけ	延べ391人 自粛距離905.3km		
	新エネ・省エネの普及啓発	中学校での出前講座、町民を対象としたセミナーの実施			
	ノマイカーデー	6～9月の第1金曜日はノマイカーデーとし、職員に呼びかけ			
	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施			
	ベレット製造施設運営事業補助	高齢者事業団により、町内で発生した剪定枝等を利用した木質ベレットの製造・販売事業に対する製造設備及び運営費用の一部を助成			

振興局	市町村名	その他			
		事業名	事業概要	H30実績	摘要
	中札内村	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
		ウォームビズの取組	11/1～4/30まで実施		
	更別村	太陽光発電システム導入補助金交付	住宅用:1kw当たり7万円 限度額20万円、事業所用:1kw当たり5万円 限度額500万円		
		クールビズの取組み	6/1～9/30まで実施		
	更別村	ノーマイカーの取組み	毎週木曜日 職員に呼びかけ		
		BDF化への取組	スクールバスのみ		
街路灯・防犯灯LED化整備事業		街路等・防犯灯をLEDに改修			
	大樹町	太陽光発電設置補助	設置経費の1/2を補助(上限10万円)		
		内窓サッシ設置補助	大サイズ:2.8㎡以上 1万8千円/箇所 中サイズ:1.6～2.8㎡未満 1万2千円/箇所		
		LED照明器具・高効率設備機器・太陽熱回収設備設置補助	設置経費の1/2補助(上限10万円)		
		クールビズの取組み	6/3～9/30まで実施		
		ノーカーデー	6月～9月中の第1金曜日の自家用車利用自粛		
	広尾町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
	池田町	住宅用太陽光発電導入支援補助金	発電システムの最大出力値1kwあたり7万円(上限20万円)を交付		
		クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
	豊頃町	ソーラパネル設置補助	1kw5万円～4kw20万円まで補助		
		クールビズ	6/1～9/30まで実施		
		公共施設における照明の減灯・消灯 OA機器の待機電力の削減			
⑫ 十勝	本別町	太陽光発電設置補助事業	1KW当たり6万円の補助金交付(上限4KW 24万円)	1件	
		クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
		ノーカーデー	年4回職員が通勤に使用する自家用車を使用しないよう働きかけを行っている		
	足寄町	木質ペレット燃焼機器導入補助	機器価格の1/2(上限20万円)を補助		
		一般住宅太陽光発電システム導入補助	1kwあたり5万円、最大4kwまで上限20万円を補助		
		森林吸収量事業	町有林内にて、森林吸収量地域を設定し、J-VER登録によりカーボン・オフセットを実施、北海道森林バイオマス吸収量活用促進講義会事業		
		クールビズ・ウォームビズの実施 クールチョイス	賛同自治体として参加		
	陸別町	地域交通利用促進事業	路線バスの利用助成等		
		クールビズの取組	6/1～9/30まで実施		
		各種森林整備・保護事業	森林整備・保護、町民植樹祭の開催等		
		住宅用太陽光発電システム導入補助事業	住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し、1kwあたり10万円の補助金を交付する。ただし、50万円を限度。		
	浦幌町	太陽光発電システム導入補助事業	住宅等に太陽光発電システム設置する費用の一部助成(上限20万円)	1件 20万円	
		クールビズの取組	6/1～9/30		
⑬ 釧路	釧路市	地球温暖化防止対策促進	体験エコ教室	3回	
		軽装(クールビズ)の取組み	6/1～9/30		
		「CO ₂ 削減/ライトダウンキャンペーン」への参加	市有施設の消灯(旧「百万人のキャンドルナイト」)	12施設実施	
		グリーン購入	物品等の購入の際に環境に配慮した商品を選択		
		電気使用量測定機器と燃費計の貸し出し	・エコワット 11台 ・ワットチッカー 21台 ・燃費計 5台	貸出件数 エコワット1台	
		全市一斉ノーマイカーの実施		なし	
		環境家計簿の作成	家庭から排出される二酸化炭素を記録し、抑制のための取組みに活用してもらう	341冊配付	
		クールチョイスの推進	釧路市としてクールチョイスへの賛同と、市民への啓発活動		
	釧路市ecoライフ促進支援補助金	省エネ設備等を設置する市民に対し、その費用の一部を補助する。	※1 20件 ※2 14件		
	釧路町	クールビズの取組	6/1～9/30まで実施	4ヶ月	
		住宅用太陽光発電システム導入補助	1KW当たり5万円の補助金交付(上限4KW 20万円:11基)	7件	
		町内会防犯灯LED化補助	更新1灯当たり2万円の補助金交付(120灯)	102灯	
	厚岸町	グリーン購入	物品等の購入の際に環境に配慮した商品を選択		
厚岸町民の森植樹祭		無立木地の解消を促進	2572本 614名参加		
環境学習の推進		環境講演会や環境パネル展の実施	環境パネル展(H31.2.2～2.12)		
住宅用太陽光発電システム設置奨励金交付		町内で住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し、奨励金を交付(上限15万円)			
役場庁舎における照明の消灯		昼休み時間中の消灯			
ノーマイカー クールビズの取組		毎週水曜日に設定し、職員に呼びかけ 6/1～9/30まで実施			

振興局	市町村名	その他				
		事業名	事業概要	H30実績	摘要	
⑬ 釧路		ウォームビスの取組	11/1～4/30まで実施			
		環境講演会開催	「変化に備えよ！気候変動への適応」を演題とし、気候変動適応センター行木副センター長より講演をいただいた。	H31.2.23開催 156名参加		
	浜中町	再生可能エネルギー等導入支援対策事業費補助金	太陽光、小型風車、地中熱(上限 10万円)			
	浜中町	防犯灯整備事業補助(1/2)	町内会の防犯灯をLEDに改修			
		浜中町植樹祭	湯沸山に苗木800本を植樹			
		廃食用油回収及び使用	廃食用油を資源物回収し、精製業者に廃食用油を売却し、精製されたBDFを一部公用車及び重機に燃料として利用			
		資源物リサイクル	プラスチック容器、空缶・空瓶・ペットボトル、紙類・衣類のリサイクル			
		普及啓発	町広報誌等による省エネルギーの啓発			
		レジ袋有料化の取り組み	レジ袋を有料化し、削減運動を継続実施			
		資源リサイクル活動奨励交付金事業	資源物のリサイクル活動を奨励し、ごみ資源化、減量化を一層促進			
	弟子屈町	今夏・今冬の節電に向けた浜中町の集中対策の実施	7%の削減目標を施設ごとに設定し、目標を達成するため、全職員等に節電の協力要請			
		クールビスの取組	6/1～9/30まで実施			
		ウォームビスの取組	11/1～4/30			
	弟子屈町	太陽光発電システム設置費補助金	1kwあたり3万円の補助金交付(5kwが上限)			
		ノーマイカー通勤デー	6月～9月に月一回程度実施			
	弟子屈町	クールビスの取組	6/1～9/30まで実施			
		弟子屈こバスポート事業	7～10月の間、摩周湖等を巡回する観光バスの燃料に100%BDFを使用			
	鶴居村	クールビス	5/28から10/5まで実施			
		住宅用太陽光発電システム導入事業費補助金交付	住宅に新規設置の発電システムへの補助(上限210千円)			
		一般家庭木質系燃料ストーブ購入事業費補助金交付	家庭用室内型、木質燃料を使用するストーブ 購入費用の1/2居内(上限150千円)	3件、450000円		
	白糠町	植樹祭	村有地内にエゾヤマザクラ45本、ニリザクラ5本を植樹	50本		
		COOLCHOICE運動	クールビス、ウォームビス、エコドライブ等温暖化防止運動の実施			
	白糠町	ノーマイカーの実施	毎週水曜日に実施			
		庁舎内の照明のこまめな消灯	昼休み時間の消灯			
	⑭ 根室	根室市	ノーマイカー	毎週水曜日設定し、職員に呼びかけ		
			クールビス、ウォームビスの取組			
			エコドライブの啓発	ホームページ、広報、FM放送を利用		
ごみの3Rの取組			ごみ分別の拡大など			
環境共生型の森林づくりの推進			市民やボランティア団体との協働による環境共生型の森づくりを推進			
環境学習等の取組			エクスカー・地球環境モーター・落石岬見学会(20回目)、ねむるカイナイト(7回目)の実施		北海道と共催	
別海町		ウォームビスの取組	12/1～3/31まで実施			
		地域貢献中小企業支援事業(エコ型住宅建設促進事業)	町内業者への発注を条件とし、省エネ住宅(エコ型住宅)の新築・増改築をする町民に対し、新築の場合は20%(上限75万円)、増改築の場合は40%を補助(上限50万円)	補助件数 56件 補助金額 25,925千円		
		クールビスの取組	5/28～9/30まで実施			
		役場庁舎における空調機の集中管理	役場本庁舎内の空調機の稼働時間及び設定温度の制限			
		植樹活動	植樹祭、造林事業			
		公共施設における照明の消灯	昼休みの消灯、照明本数の間引き			
中標津町		公共施設におけるOA機器の電源を切る	昼休み、外勤等			
		リフレッシュウォークビス	毎週水曜日			
標津町	クールビスの取り組み	6/1～9/30まで実施				
	クールビスの取組	6/1～9/30まで実施				
標津町	ノーマイカーの取組	4～11月 水曜日に実施		冬期は実施せず		
	ノーマイカーの取組	毎週水曜日				
羅臼町	クールビスの取組	6/1～9/30まで実施				
	役場庁舎における照明の消灯	昼休み時間の消灯。日中の窓際照明の消灯。				

表12 事業者、NPO等の取組状況(平成30年度)

振興局別	地域	事業主体	内 容	部門
空知管内	岩見沢市	(株)トッキュウ	(株)トッキュウは、岩見沢市栗沢町の本社事務所建て替えに伴い、地中熱を利用した冷暖房ヒートポンプシステムを導入した。	民生(業務)部門
石狩管内	江別市	えべつ地球温暖化対策地域協議会	えべつ地球温暖化対策地域協議会は、地域ぐるみで行う地球温暖化防止等の環境保全を効果的に推進するための方策の協議、計画、実施等のため、平成16年2月設立。H30年度は、「えべつ環境広場」を開催した。構成員:12団体及び個人会員	民生(家庭)部門
石狩管内	北広島市	エコパートナーシップ北広島	エコパートナーシップ北広島は、地球温暖化防止を目的として平成16年3月設立。平成30年度は、小学校でのエコ講座や「北広島環境ひろば」等の各種啓発事業を実施した。構成団体:北広島市生活学校・北広島消費者協会・北広島商工会女性部	民生(家庭)部門
石狩管内	石狩市	(株)市民風力発電	(株)市民風力発電は、石狩コミュニティウインドファーム事業による風力発電所(20,000kW)の運転を平成30年12月に開始した。	エネルギー転換部門
石狩管内	札幌市	大京グループ	大京グループは、札幌市中央区で経済産業省の「平成30年度高層ZEH-M(ゼッチマシジョン)実証事業に採択されたマンション建設を進めている。省エネ設備の導入により、エネルギー消費の20%削減が可能で、国の基準をクリアする道内初の分譲マンションとなる。	民生(家庭)部門
石狩管内	石狩市	京セラコミュニケーションシステム(株)	京セラコミュニケーションシステム(株)は、太陽光や風力など再生可能エネルギー由来の電気だけを使うゼロエミッション・データセンターを石狩湾新港地区に開設する。2021年中に稼働開始予定で、2022年に再エネ100%で稼働する計画。	民生(業務)部門
石狩管内	石狩市	シンエネルギー開発(株)、(株)奥村組	シンエネルギー開発(株)及び(株)奥村組は、石狩湾新港の工業団地に木質バイオマス発電所を建設し、2022年10月の運転開始を目指す。	エネルギー転換部門
石狩管内	石狩市	石狩市	道は、「新エネルギー導入加速化基金」のモデル地域に、新たに石狩市を認定した。発電出力計40kWの太陽光パネルと小型風車を設置し、発生した電力を燃料電池に貯蔵。公共施設に供給するほか、災害時は非常用電源としても活用する。	民生(業務)部門
石狩管内	札幌市	生活協同組合コープさっぽろ	生活協同組合コープさっぽろは、事業運営を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業・団体が加盟する国際的な取組「RE100」に加盟した。2040年までに再エネ使用比率を100%にする計画。	民生(業務)部門
後志管内	小樽市	小樽商工会議所	小樽商工会議所は、環境・エネルギー委員会を設置し、「地球環境等環境問題に関する事項」、「エネルギーに関する事項」、「リサイクルの推進に関する事項」に係る事業活動を推進するため、毎年数回委員会を開催している。	産業部門
後志管内	小樽市	北海道千年の森プロジェクト	小樽市民が中心となって結成された「北海道千年の森プロジェクト」は、市や事業者、NPO法人などの助成や後援の下、市民参加の植樹活動や講演会などを年に数回開催している。	森林等による二酸化炭素吸収源対策
後志管内	真狩村	くにうみエナジー(株)	くにうみエナジー(株)は、真狩町で太陽光発電所(751kW)の運営を平成31年3月に開始した。	エネルギー転換部門
後志管内	小樽市	北海道電力(株)	北海道電力(株)は、平成31年2月に、液化天然ガス(LNG)を燃料とする石狩湾新港発電所1号機(出力56.94万kW)の営業運転を始めた。	エネルギー転換部門
後志管内	古平町	古平町、大成建設(株)	大成建設(株)が設計中の「古平町中心拠点誘導複合施設」が、建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)に基づく最高ランクを獲得するとともに、一次エネルギー消費を50%以上削減する「ZEB Ready」認証を道内の公共施設としては初めて取得した。	民生(業務)部門
日高管内	日高管内	王子木材緑化(株)、日高地域木質バイオマス資源利用推進協議会、日高振興局	3者は平成31年2月19日に、林地未利用材や河道内の樹木等を原料とし、木材の既存利用に影響を及ぼさないよう適切に配慮した木質バイオマスの安定供給を図ることを目的とした「林地未利用材等の利用促進に向けた協定」を締結した。	森林等による二酸化炭素吸収源対策
渡島管内	函館市	アースデイ函館実行委員会(北海道教育大学函館校の学生組織)	アースデイ函館実行委員会は、地球規模の環境問題を住民と共有し、住民意識の向上を目指すため「Earth Day HAKODATE 2018」を開催した。	民生(家庭)部門

表12 事業者、NPO等の取組状況(平成30年度)

振興局別	地域	事業主体	内 容	部門
渡島管内	函館市	函館市地球温暖化対策地域推進協議会	函館市地球温暖化対策地域推進協議会は、日常生活に関する温室効果ガス削減に向け、具体的対策に連携して取り組む組織として、平成23年8月に設置。平成30年度は、パネル展、市民講座、北海道クールアース・デイの取組、はこだてノーマイカーデー等を実施した。 構成員：住民団体5、事業者12、高等教育機関8、地球温暖化防止活動推進員1、地方公共団体2	民生(家庭)部門
渡島管内	函館市	民間企業	民間企業2社は、函館市内の南茅部地域と恵山地域においてそれぞれ地熱発電事業を計画している。	エネルギー転換部門
渡島管内	北斗市	ニューデジタルケーブル(株)	ニューデジタルケーブル(株)は、北斗市内において12月に出力規模1,870kW及び1,000kw、1月に469.7kwのメガソーラーを設置した。	エネルギー転換部門
檜山管内	厚沢部町	(株)インディテール、北海道電力(株)ほか	(株)インディテール、北海道ガス(株)などが参加する協議会は、太陽光発電による再生可能エネルギーを使って、過疎地における電気自動車の実証実験を始める。地域通貨を発行し、病院や役場など中心住宅地への移動を促す取組。	運輸部門
上川管内	旭川市	上川生産農業協同組合連合会	上川生産農業協同組合連合会は、JA上川ビルに地中熱を利用した冷暖房設備を導入した。(平成30年9月)	民生(業務)部門
上川管内	富良野市	ふらの市民環境会議	ふらの市民環境会議は、富良野市環境基本計画に基づき環境保全・創造に市民・事業者等が取り組むため、意見・情報交換の場として平成15年1月に設立。平成30年度は、ふらの環境展2018(各種コンクール作品展示、環境パネル展、エコカー展示、講演会、研究発表、映画上映会等を開催した。	民生(家庭)部門
上川管内	当麻町	(有)HEYタクシー	(有)HEYタクシーは、宅配大手の佐川急便(株)と連携し、常用タクシーで乗客と宅配荷物を一緒に運ぶ「貨客混載事業」を始めた。	運輸部門
上川管内	士別市	(株)イトイホールディングス	(株)イトイホールディングスは、環境省が進める二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用し、「低炭素型」の新社屋を士別市内に建設する。道産木材を材料とした直交集成板CLTを使い冷暖房の使用抑制につなげるほか、木質チップ燃料を使ったボイラーも設置する予定。	民生(業務)部門
宗谷管内	宗谷管内	JR北海道	JR北海道は、佐川急便(株)と連携し、宅配便の荷物を列車で運ぶ貨客混載事業の実証実験を平成30年11月21日に実施した。	運輸部門
宗谷管内	豊富町	豊富町、北海道ガス(株)	豊富町は、北海道ガス(株)と協力し、町内の豊富温泉地区から産出される天然ガスを使った発電プラントを建設する。電気は町内の一般家庭や公共施設に供給予定。	エネルギー転換部門
オホーツク管内	網走市	(株)WIND-SMILE	(株)WIND-SMILEは、網走市内において、間伐材を燃料とした出力規模1,995kWのバイオマス発電所を平成31年2月に稼働させた。	エネルギー転換部門
十勝管内	足寄町	足寄町農業協同組合	足寄町農業協同組合は、家畜ふん尿バイオガスプラント「JAあしよるバイオマスセンター」を建設した。(平成31年3月、乳牛1,000頭規模、発電300kW)	エネルギー転換部門
十勝管内	足寄町	足寄町	足寄町は、温泉から天然ガスを取り出し、発電に活用する事業に着手する。源泉に隣接するイチゴハウス運営の電源として使い、温泉湯自体も配管を通してハウスの暖房に利用する。	エネルギー転換部門
十勝管内	上士幌町	上士幌町、北海道ガス(株)ほか	上士幌町などが立ち上げた地域商社「(株)karch(カーチ)」が同町内に電力供給を始めた。家畜ふん尿をメタン発酵し可燃ガス化する、畜産系バイオマス発電。	エネルギー転換部門
十勝管内	新得町	農業生産法人「友夢牧場」	農業生産法人「友夢牧場」は、家畜ふん尿によるバイオガス発電の余剰熱を利用したメロンの水耕栽培に成功した。	エネルギー転換部門
釧路管内	釧路市	阿寒農業協同組合	阿寒農業協同組合は、牛のふん尿からバイオガスをつくるプラントを建設する。従来は堆肥にして牧草の肥料に使っていたが、発電燃料に活用範囲を広げる。2020年稼働予定。	エネルギー転換部門
釧路管内	白糠町	(株)神戸物産	(株)神戸物産が建設していたバイオマス発電所(出力6,250kW)が完成し、平成30年8月から稼働。釧路地域の間伐材をチップにした木質バイオマスを燃料としている。	エネルギー転換部門

※ 事業者、NPO等の取組状況の把握にあたっては、道において独自に市町村へ調査を行ったほか、国や道から優れた取組として表彰された事業者などの取組や新聞等の情報によりとりまとめました。

表13 北国の省エネ・新エネ大賞(平成30年度、北海道経済産業局)

振興局別	地域	事業主体	内 容	部門
石狩	札幌市	株式会社アリガプランニング	『道内初のランク「ZEB」(106%)を実現したアリガプランニング新社屋』 ・同社では、建築物省エネ法による規制強化(大型非住宅建築物の省エネ基準適合義務化等)を受け、今後、ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)が脚光を浴びていくことに着目。 ・グループ本社でZEBプランナーの有我工業所が、同社の新社屋建設に参与し、外皮性能向上や地中熱・井水熱を利用した暖冷房システムの採用等により、建物のエネルギー消費で大半を占める空調エネルギー消費量を大幅に削減。さらに、太陽光発電(創エネ)により、最高ランク「ZEB」(106%)を道内で初めて実現した。 【大賞】	民生(業務)部門
石狩	札幌市	岩谷産業株式会社エネルギー北海道支社	『LPガスの特徴を最大限に活用した省エネ、発電、地域貢献事業～LPガスで出来るBCP対応はじめてみませんか～』 ・重油や灯油に比べ発熱量が大きく、CO ₂ 排出量が少ないLPガスを、道内ユーザーに普及させる取組を展開。 ・ユーザーに対し、重油等から高効率LPガス設備への転換に対する補助制度の活用支援や、LPガスの有効性等に関するセミナー開催等普及啓発も実施。 【優秀賞】	民生(業務)部門
石狩	札幌市	株式会社コロナ札幌支店、旭建材株式会社	『一般戸建住宅向け、寒冷地における杭活用による地中熱ヒートポンプ暖冷房システムの開発・導入』 ・本州地域で販売中の、地中熱と空気熱+鋼管杭採熱管による「ハイブリッド暖冷房システム」をベースに、寒冷地対応型システムを新たに開発。 ・採熱管本数及び深度を6本×10mとすることで施工費を抑えるほか、灯油ボイラと比べ、約30%のCO ₂ 排出削減が可能。 【優秀賞】	民生(家庭)部門
石狩	札幌市	一般財団法人北海道電気保安協会	『IoT 技術を活用した簡易EMS(電力見える化クラウドシステム・Enerviss)の構築』 ・事業者(高圧・特別高圧受電の電力需要家)を対象に、電力の使用状況をリアルタイムで管理する簡易型EMS(エネルギー・マネジメント・システム)を開発。 ・簡単に設置でき、月額3千円の利用料(従来40%以下)での提供を可能とした。 【優秀賞】	民生(業務)部門
石狩	札幌市	株式会社三建ビルディング、三建設備工業株式会社	『低炭素社会の実現を目指した寒冷地ゼロ・エネルギー・ビル～札幌三建ビル～』 ・寒冷地のZEBモデル建物として、札幌三建ビル(ZEB Ready)を平成30年10月に竣工。 ・外断熱や日射追従型の外ブラインド、中間期や夏期朝夜の自然換気、地中熱高効率空調を採用し、消費エネルギーを59.9%削減。 【優秀賞】	民生(業務)部門
石狩釧路	札幌市釧路市	天谷一男、株式会社カイト一商会	『パッシブ換気システムと自然対流を応用した、床下最小熱源による全室自然換気・暖房の快適住宅の普及』 ・パッシブ換気システムを活用し、床下に設置した家庭用ヒートポンプ式エアコンのみで、全室自然換気・暖房できるエネルギー効率に優れた工法を開発するとともに、その快適住宅を普及。 【優秀賞】	民生(家庭)部門
渡島	七飯町	株式会社社エネコープ	『低圧連系発電ユニットを備えた地域循環型バイオガスプラントの開発・運営』 ・七飯町のバイオガスプラントにおいて、低圧連系を可能とする発電設備やインバーターの設計・開発を行い、平成29年4月から売電事業を開始。 ・家畜糞尿・食品廃棄物対策から再エネ発電、消化液の肥料としての活用等、地域循環型社会のモデルとなる仕組みを構築。 【優秀賞】	廃棄物部門
十勝	帯広市	アルス・ゼータ有限公司	『道東地域における省エネ・新エネ事業の提案型設計施工』 ・道東地域を中心に、提案型の省エネ・新エネ設備の普及活動を積極的に展開。 ・ホテルや商業施設、公共施設等の省エネ新築・改修に係る設計施工を多数手掛ける。 ・さらに、運用開始後の実績データを収集し、顧客への運用改善策も提案。 【優秀賞】	民生(業務)部門
十勝	帯広市	株式会社武田鉄工所	『農業残渣など廃棄物の熱利用を可能とした小型バイオマス燃焼機の開発～北海道の循環型社会・低炭素社会・農業地域活性化社会の実現に向けて～』 ・農業廃棄物を対象とした燃焼機の開発。 ・農業廃棄物は、発熱量が小さく灰分が多い等、安定燃焼によるエネルギー利用は難しかったが、独自開発した機構等により、安定持続的なエネルギー利用を可能とした。 ・これにより、農業における廃棄物問題と冬期の熱需要の課題を同時に解決。 【優秀賞】	廃棄物部門

表14 北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞(平成30年度、北海道)

振興局別	地域	事業主体	内 容	部門
石狩	札幌市	一般財団法人 北海道電気保安協会	『電力見える化クラウドシステム(Enerviss)』 ・企業などの大口電力需要家を対象に、新たなエネルギー管理システム(簡易EMS)のサービスとして、デマンド管理(電気使用状況管理)、実績管理(電気量・電気料金)、ECOソリューション(省エネ情報配信)機能を備えた、電力見える化クラウドシステムを開発。 【省エネルギー部門大賞】	民生(業務)部門
石狩	札幌市	有限会社トミタ	『エネルギーの地産地消を目的とした直行型イベント/災害支援派遣電源車両「PVチャージステージング」の開発と運用』 ・常設の太陽光パネル、大容量の蓄電池、各種ステージに利用できる音響・照明を4トントラックに搭載したオフグリッド車輛を開発し、各種イベントのほか、災害時の緊急用電源車両としても活用。 【新エネルギー部門大賞】	共通的・基盤的施策
石狩	石狩市	正和住設株式会社、 サンポット株式会社(岩手県)	『積雪寒冷地における地下水利用での融雪と地中熱ヒートポンプ高効率化の実証事業』 ・地中熱ヒートポンプユニット、融雪槽、熱交換器、汲み上げポンプから構成される住宅の暖房システムの実証評価を実施。 【新エネルギー部門奨励賞】	民生(家庭)部門

表15 北海道ゼロ・エミ優秀賞(平成30年度、北海道)

振興局別	地域	事業主体	内 容	部門
空知	新十津川町	金滴酒造株式会社	『酒粕を活用した新商品開発による産廃排出量の完全削減』 ・清酒製造において発生する酒粕について、地域と連携し、新しい商品開発や家畜飼料としての利用などにより、これまで廃棄していた酒粕の全量を資源化し、廃棄量をゼロにした。	廃棄物部門

※ 事業者、NPO等の取組状況の把握にあたっては、道において独自に市町村へ調査を行ったほか、国や道から優れた取組として表彰された事業者などの取組や新聞等の情報によりとりまとめました。

表16 地球温暖化対策に関する調査研究一覧

分類	事業名	実施主体	事業概要等	事業期間
温室効果ガスの調査等	温室効果関連物質の長期的環境濃度モニタリング	国立環境研究所、道総研(環境科学研究センター)	<p>独立行政法人国立環境研究所では、平成5年度に根室市落石岬に「地球環境モニタリングステーション-落石岬」を設置し、人為的な汚染等の影響が少ないベースラインレベルの温室効果ガス及び大気汚染成分や大気粉じんの観測を行っている。</p> <p>比較的人為汚染が少ないと考えられる本サイトにおいても、地域レベルのベースラインとしての汚染の影響は存在すると考えられ、特に、観測大気が日本およびアジア大陸の人間活動、または船舶などの影響をどの程度受けているかを推定することが重要であると思われる。本事業は、これらの物質のうち大気粉じん(エアロゾル)の濃度やイオンならびに金属成分、炭素成分の時系列変化について観測し、ベースラインレベル濃度や組成の長期的変化について把握することを目的とする。</p>	H2. 4 ～継続
	有害大気汚染物質モニタリング調査(道受託研究)	北海道、道総研(環境科学研究センター)	<p>大気汚染防止法第18条の38の規定に基づき、本道における有害大気汚染物質による大気汚染の状況を把握するとともに、これまでの調査結果と合わせた考察、課題を抽出することにより、その対策の推進に資する。</p>	H9. 4 ～継続
	気温上昇による大気中物質の変化に関する研究	道総研(環境科学研究センター)	<p>気温の上昇による大気化学反応への影響として、植物等の栄養塩である窒素成分の生成される種類と量を評価し、大気から地表・生態系への沈着量を明らかにする。</p> <p>また、植物に有害な対流圏オゾンについて、気温の上昇に伴う濃度および沈着量の変化の評価を行う。</p>	H28. 4 ～H31. 3
	硝化抑制剤DMPPによる生産性向上と温室効果ガス削減効果の評価	道総研(中央農業試験場)、BASF ジャパン	<p>硝化抑制剤は、農地からの亜酸化窒素の発生量を抑制できることが知られているが、ヨーロッパで開発されたDMPPは、日本における硝化抑制効果が検証されていない。このため、日本におけるDMPPの硝化抑制効果と最適添加濃度を明らかにする。</p>	H30. 4 ～R2. 3
建築物関係	非住宅建築物及び住宅の省エネ適合義務化対応と将来目標水準に関する研究	道総研(北方建築総合研究所)	<p>(1)適合義務化に対応するための課題の整理 (2)適合義務化への対応策に関する検討 (3)一般的な計算法として整備すべき寒冷地の省エネ手法の抽出 (4)将来的なネットゼロエネルギー実現に向けた将来目標水準の検討</p>	H28. 4 ～H31. 3
	ZEH対応も踏まえた枠組壁工法住宅の高性能外皮・空調システムに関する開発	道総研(北方建築総合研究所)	<p>枠組壁工法戸建を対象に、ZEH対応や様々な誘導水準への対応も視野に入れ、EB・NEB、費用対効果を考慮し、実用性に優れた高性能外皮・低負荷型空調システムの開発を主な目的とする。</p>	H28. 4 ～H31. 3
	建物群の熱・電力融通を考慮した建築・設備システムに関する研究	道総研(北方建築総合研究所)	<p>建物群の熱・電力融通を可能とするシステムを検討し、それに対応する自由度の高い建築・設備システムを明らかにし、省エネルギー性・経済性を評価する。</p>	H29. 4 ～H31. 3
ヒートポンプ	磁気ヒートポンプ熱交換構造に関する研究	道総研(工業試験場)	<p>磁気冷凍サイクルを用いた磁気ヒートポンプは、省エネルギー・低環境負荷の新たな熱デバイスとして注目を集めている。このデバイスの効率化を目的とし、磁気作業物質充填層による熱交換構造についての研究を行い、AMR蓄熱再生器を試作し、システムの効率化を図る。</p>	H26. 11 ～R2. 3
	Additive Manufacturingによる潜熱蓄熱型ヒートシンクの構築	道総研(工業試験場)、明治大学	<p>工場排熱や太陽熱利用などの未利用熱や低密度エネルギーの有効利用を目指し、Additive Manufacturing装置(AM:付加製造技術による金属粉末積層造形装置)により作製される金属多孔質体と、蓄熱機能を有する相変化エマルションの技術融合により、新規な蓄熱式高度熱交換デバイスの開発とその特性評価を行う。</p>	H28. 4 ～R1. 3

分類	事業名	実施主体	事業概要等	事業期間
バイオマス	木質バイオマスエネルギーの高性能な供給・利用システムの開発	道総研(北方建築総合研究所、林産試験場、工業試験場、環境科学研究センター)	有限な木質バイオマス資源を有効に活用するため、燃料製造・設備計画・運用方法をトータルで考えた木質バイオマスエネルギーの高性能な供給・利用システムを開発する。	H30. 4 ～R3. 3
	農業用廃プラスチックの地域内資源循環システムの社会実装に係る研究	道総研(工業試験場、十勝農業試験場、林産試験場、環境科学研究センター)、株式会社武田鉄工所、株式会社NERC	これまでに開発した技術(長いもネットと茎葉の分離装置など)を資源循環システムとして社会実装するためには、農作物残さ(小豆殻、長いもネット等)の圃場搬出からペレット製造、燃焼及び焼却灰の処理までの資源循環システムを最適化することにより低コスト化を図る必要があるほか、資源循環の規模を拡大して経済性を高める必要があることから、本事業では、農業用廃プラスチック循環システムの最適化とボイラシステムの高度化により、地域内資源循環システムの社会実装を目指す。	H27. 10 ～R2. 3
	木質バイオマスの利活用に関する基礎調査研究(薪ストーブからの粒子状物質に関する評価)	道総研(環境科学研究センター)	積雪寒冷地である北海道において、熱源として貴重な木質バイオマスである薪を燃料とした薪ストーブの適切な普及へと結びつけるため、粒子状物質の排出実態と普及に向けた課題を整理する。	H30. 4 ～R2. 3
	バイオマスエネルギーを燃料とした農業機械の導入可能性に係る基本調査	道総研(中央農業試験場)、株式会社鹿島建設	バイオマスエネルギー(水素及びメタン)を燃料としたトラクタの導入可能性について、先行事例調査及び対象市町村のバイオマストラクタ導入時のエネルギー必要量、CO ₂ 削減効果などについて調査する。	H30. 10 ～R2. 3
温泉熱源利用等	伊達市北湯沢地区および周辺地域における温泉資源量評価に関する研究	道総研(地質研究所)	伊達市北湯沢地区および周辺地域での温泉資源の持続可能な利用と開発を推進するため、物理探査手法および地球化学的手法により、当該地区の温泉資源の実態、地下構造と温泉生成機構を明らかにし、地熱および温泉の適正な開発と利用のための提言を行う。	H28. 4 ～H31. 3
	ニセコ地域における地熱構造モデル構築と地熱資源量評価	道総研(地質研究所)	地熱開発有望地域として注目されるニセコ地域において、地熱資源量(持続的な発電規模)を評価するとともに、開発による周辺温泉への影響可能性を評価することで、周辺温泉に配慮した地熱資源開発を円滑に進める。	H29. 4 ～R3. 3
その他	海洋環境調査研究	道総研(中央水産試験場、函館水産試験場、釧路水産試験場、稚内水産試験場)	本道周辺200海里海域における海洋環境を定期的かつ長期的に調査・分析し、海域や季節ごとの海洋構造や変動要因を明らかにするとともに、それらに伴う低次生産力の動向を明らかにする。	H1. 4 ～継続
	都市における再生可能エネルギー最適導入プロセス解明の動的評価手法の構築	道総研(北方建築総合研究所)	都市規模(人口密度等)や気候等の地域特性によって異なる都市のエネルギー需要に加え、様々な再生可能エネルギーの供給や都市の時間軸(将来的な人口減少や都市縮減)も考慮し、都市の将来的な再生可能エネルギーの最適導入プロセスを明らかにすることが可能な動的評価手法の構築を目的とする。また、北海道富良野市を対象に、構築する動的評価手法の実用的検証を行う。本研究で構築する評価手法を用いることにより、都市のエネルギーに係る将来ビジョンを提案することが可能となり、自立・分散型低炭素エネルギー社会の実現に貢献する。	H28. 4 ～H31. 3

※ 「道総研」:「地方独立行政法人 北海道立総合研究機構」の略称。

※ 本表は、「道総研」が中心に行っている調査研究事業を掲載しております。

【参考資料】

表 算定対象ガスと主な発生源

二酸化炭素		
エネルギー 利用	エネルギー転換	火力発電所、ガス事業所及び石油精油所における化石燃料及び電力の消費（自家消費）
	産業	製造業、農林業、水産業、建設業及び鉱業における化石燃料及び電力の消費
	民生	家庭、事務所、店舗等における電気、ガス、灯油等の消費
	運輸	自動車、鉄道、船舶、航空機の化石燃料及び電力の消費
廃棄物		廃棄物の焼却
工業プロセス		セメント製造時における石灰石の使用
メタン		
エネルギー利用		燃料の燃焼施設、自動車の走行
農業		水田（嫌気性状態）、家畜の消費活動（腸内発酵）及びふん尿（嫌気性発酵）、農業廃棄物の焼却
燃料の採掘		石炭等の採掘時における漏出
廃棄物		廃棄物の埋立、焼却及び下水道処理工程
一酸化二窒素		
エネルギー利用		燃料の燃焼施設、自動車の走行
医療ガスの使用		医療ガスの使用
農業		窒素系肥料の施用、家畜のふん尿、農業廃棄物の焼却
廃棄物		廃棄物の焼却
ハイドロフルオロカーボン		カーエアコンや冷蔵庫等の冷媒、工業用エアゾール等
パーフルオロカーボン		電子機械製造での半導体エッチング、洗浄乾燥等
六ふっ化硫黄		電子絶縁用ガス、半導体エッチング等
三ふっ化窒素		半導体エッチング等

注）温対法の改正（2015（H27）年4月1日施行）により、三ふっ化窒素が温室効果ガスの種類として追加されたため、2013（H25）年度分の推計から新たに追加しました。

区分	取組内容	算定方法	削減目標	削減推計量	削減目標達成率	2016年度時点での想定削減量	達成状況	要因
			2020年度 【A】	2016年度 【B】	【B/A】	(A/9*5) 【C】		
事業者の取組	再生可能エネルギーの利用等	太陽光発電、風力発電、中小水力発電、廃棄物発電、地熱発電の導入 (新エネルギー導入拡大に向けた基本方向 導入目標×排出係数)	△ 107.8	△ 102.2	94.8%	△ 59.9	↗	太陽光発電及びバイオマスによる発電量が増加している。
	再生可能エネルギーの利用等	太陽熱、水温度差、雪氷冷熱、地熱(熱水利用)、排熱利用、廃棄物熱利用の利用 (新エネルギー導入拡大に向けた基本方向 導入目標×排出係数)	△ 53.2	△ 13.3	25.0%	△ 29.6	→	バイオマスなどで想定削減量に達していない。
	再生可能エネルギーの利用等	ゼロ・エミッション電源の導入 ※ほくでんの「電源開発計画」と電源ごとの原単位から算定 ゼロ・エミッション電源(水力、原子力発電) (2020年度(現状趨勢ケース)におけるエネルギー転換(電気事業)部門排出量)×(ゼロエミッション電源の割合を56%とした場合の削減率)	△ 9.1	43.6	-479.1%	△ 5.1	→	原子力発電所の停止により火力発電の割合が増加しているため
	混合セメントの利用	混合セメントの利用 (京都議定書目標達成計画削減見込量)×(全国に占める北海道のセメント生産量の割合)	△ 4.2	1.1	-26.2%	△ 2.3	→	混合セメントの主な用途である公共工事量の落ち込みのため
	日本経済団体連合会の自主的な取組	経団連環境自主行動計画に基づく取組 (各業種における削減見込量)×(各業種における全国に占める道の排出量の割合)	-	△ 62.7	計画以上の削減推計量	-	↗	排出削減の取組や省エネ機器、設備の導入が進んだため
	LNG火力発電所稼働による削減効果	LNG火力発電所稼働による削減効果 (LNG火力発電による供給見込量)×(削減効果)	△ 133.8	0.0	0.0%	△ 59.5	→	LNG火力発電所2019年2月稼働。
	小計②		△ 494.9	△ 465.1	94.0%	△ 274.9		
二酸化炭素の排出削減対策	環境に配慮した自動車の利用	トッパンナー基準による自動車の燃費改善 (2020年度低公害車普及推計台数)×(2007年度の車種別導入割合)×(車種別の削減効果の目安)	△ 11.9	△ 43.9	計画以上の削減推計量	△ 6.6	↗	エコカー補助金、エコカー減税などにより、低公害車の普及割合が増加したため
		次世代自動車の導入 (2020年度新車販売推計台数×次世代自動車導入割合×削減効果の目安)	△ 0.6	△ 17.8	計画以上の削減推計量	△ 0.3	↗	エコカー補助金、エコカー減税などにより、次世代自動車の普及割合が増加したため
		エコドライブによる削減効果 ※現状から一定割合(10%)を増減するとして算定 (2020年道内人口推計値)×(免許保有者率)×(エコドライブによる削減効果の目安)×(10%)	△ 15.2	21.8	-143.4%	△ 8.4	→	道民意識調査の結果、エコドライブの取組割合が以前よりも低下したため。
		エコドライブ関連機器の導入 (京都議定書目標達成計画削減見込量)×(全国に占める道の自動車保有台数の割合)	△ 0.1	△ 2.2	計画以上の削減推計量	△ 0.1	↗	計画以上に進んでいる
	公共交通の利用促進・物流の合理化	交通手段の転換 ※現状から自動車利用者の一定割合(10%)を増減して公共交通機関、自転車利用に転換するとして算定 (2020年道内人口推計値)×(免許保有者率)×(公共交通機関、自転車の利用転換による削減効果の目安)×(10%)	△ 2.8	2.2	-78.6%	△ 1.6	→	道民意識調査の結果、公共交通機関の利用心が育つ取組が以前よりも低下したため。
		トラック輸送の効率化 ※効率化とは、車両の大型化、トレーラー化など (京都議定書目標達成計画削減見込量)×(全国に占める道の自動車貨物輸送量の比率)	△ 19.6	70.4	-359.2%	△ 10.9	→	自家用から営業用貨物車への転換が進んでいない。想定どおり進んでいない
		モーダルシフト(船舶、鉄道輸送への転換) (京都議定書目標達成計画削減見込量)×(全国に占める道の自動車貨物輸送量の比率)						
	エネルギー消費効率の向上	「新エネルギー導入拡大に向けた基本方向」の目標達成 (自動車保有台数)×(運輸部門エネルギー消費原単位)	△ 180.7	△ 7.4	4.1%	△ 100.4	→	自動車保有台数の増加などによりエネルギー消費量が増加
		鉄道・航空エネルギー消費効率の向上 (京都議定書目標達成計画削減見込量)×(全国に占める道の鉄道輸送距離・旅客距離の割合)	-	△ 16.9	計画以上の削減推計量	-	↗	事業者の省エネ等の取組が進み、想定よりも削減が進んだもの 参考値 2013年度の国の対策・施策の進捗状況から算出
		省エネルギーに資する船舶(SES)の普及促進 (京都議定書目標達成計画削減見込量)×(全国に占める道の海上貨物輸送量の比率)	-	△ 0.1	計画以上の削減推計量	-	↗	船舶の省エネ向上及び全国に占める道の海上貨物輸送割合の増 参考値 2013年度の国の対策・施策の進捗状況から算出

区分	取組内容	算定方法	削減目標	削減推計量	削減目標達成率	2016年度時点での想定削減量	達成状況	要因
			2020年度 【A】	2016年度 【B】	【B/A】	(A/9*5) 【C】		
二酸化炭素の排出削減対策	運輸関係の取組	道路交通情報通信システム (VICIS) の導入 (京都議定書目標達成計画削減見込量) × (全国に占める道の自動車保有台数の割合)	△ 0.5	△ 1.8	計画以上の削減推計量	△ 0.3	→	カーナビゲーションシステム等の普及に伴い導入促進が図られたため 参考値: 2013年度の国の対策・施策の進捗状況から算出
		信号機の集中制御化・高度化 (京都議定書目標達成計画削減見込量) × (全国に占める道の信号機・信号灯機の整備基数の割合)	△ 1.2	△ 1.9	計画以上の削減推計量	△ 0.7	→	計画以上に進んでいる
	バイオ燃料の普及拡大 (バイオディーゼル燃料消費見込量) × (削減効果)	△ 1.0	△ 0.2	20.0%	△ 0.6	→	バイオディーゼル燃料製造量が減少したため	
	小計③	△ 233.6	2.2	-1.0%	△ 129.8			
	廃棄物関係の取組	3R (リユース、リユース、リサイクル) の推進 廃棄物排出量の減少と再生利用率の向上 (2020年度 (現状趨勢ケース) における廃棄物部門排出量) - (2020年度 (対策ケース) 廃棄物部門排出量)	△ 6.4	△ 5.3	82.8%	△ 3.6	↗	概ね見込どおり 参考値: 現状趨勢と対策実施の比較で目標設定しているため
小計④	△ 6.4	△ 5.3	82.8%	△ 3.6				
温室効果ガス削減以外の取組	事業者の取組	代替フロン等4ガスの削減及びフロン法改正による規制強化 (国の代替フロン等4ガスの削減割合 (1-2010年度/1995年度) × 1995年度の道の代替フロン等4ガスの排出量)	△ 60.8	119.7	-196.9%	△ 33.8	→	フロン類使用機器の使用時及び廃棄物の排出量が増加
		農業におけるメタン及び一酸化二窒素の削減 家畜ふん尿等のバイオマス発電の利活用 (エネルギー生産計画量 (原油換算) × 原油の熱量 / バイオガスの熱量 / 単位当たりバイオガス発電量 / 肉用牛の単位当たりふん尿排出量 × 排出係数)	△ 0.6	△ 15.6	計画以上の削減推計量	△ 0.3	↗	計画以上に進んでいる
	廃棄物関係の取組	3R (リユース、リユース、リサイクル) の推進 廃棄物排出量及び最終処分量の減少、再生利用率の向上 (2020年度 (現状趨勢ケース) における廃棄物部門排出量) - (2020年度 (対策ケース) 廃棄物部門排出量)	△ 5.3	△ 2.6	49.1%	△ 2.9	↗	概ね見込どおり 参考値: 現状趨勢と対策実施の比較で目標設定しているため
	小計⑤	△ 66.7	101.5	-152.2%	△ 37.1			
合計(小計①+②+③+④+⑤)			△ 974.9	△ 355.9	36.5%	△ 541.6	→	

「削減シナリオの進捗状況」の見方

各項目の見方は、次のとおり。

【A】: 2020 (R2) 年度における削減目標

2011 (H23) 年度 (改定目標の現況年) 時点で 2020 (R2) 年度の推計温室効果ガス排出量から削減シナリオによる削減を見込む量。(合計で 975 万 t-CO₂)

【B】: 2016 (H28) 年度の削減量

国の「2015 年度及び 2016 年度の地球温暖化対策及び施策の進捗状況」などから算出した 2016 (H28) 年度の削減量。

【B/A】: 削減目標進捗率

2020 年度の削減目標に対する 2016 (H28) 年度時点における進捗率。

【C】: 2016 (H28) 年度時点での想定削減量

2011 (H23) から 2020 (R2) 年度まで、目標に対して直線的に削減が進むとした場合の 2016 (H28) 年度時点の想定削減量。

【参考資料】

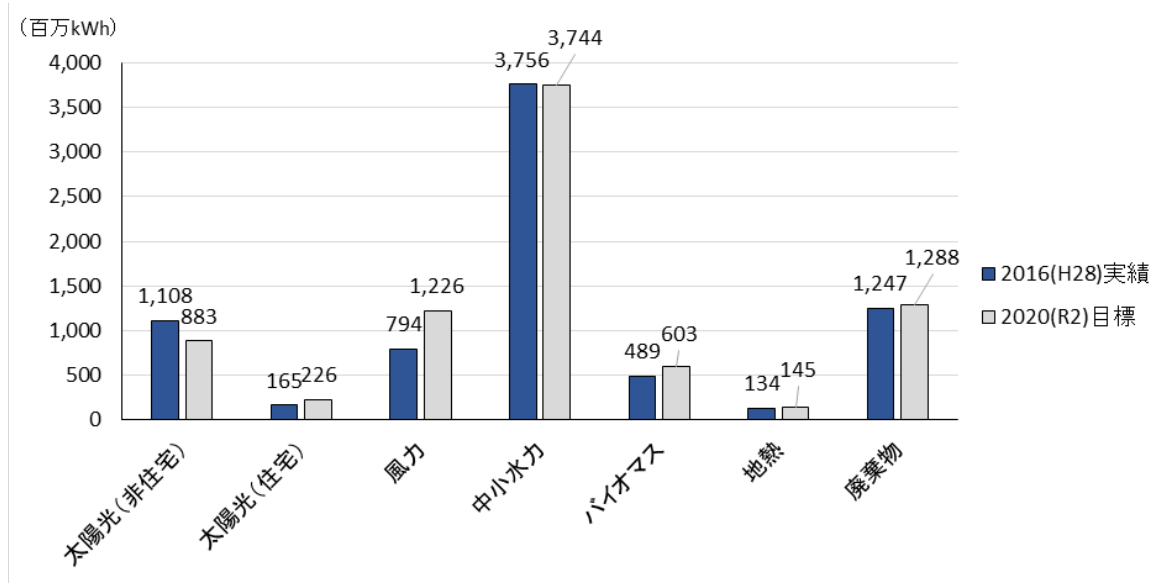


図 再生可能エネルギーの導入状況（発電電力量）

（出典：「平成30年度省エネルギー・新エネルギー関連施策の取組状況」北海道経済部）

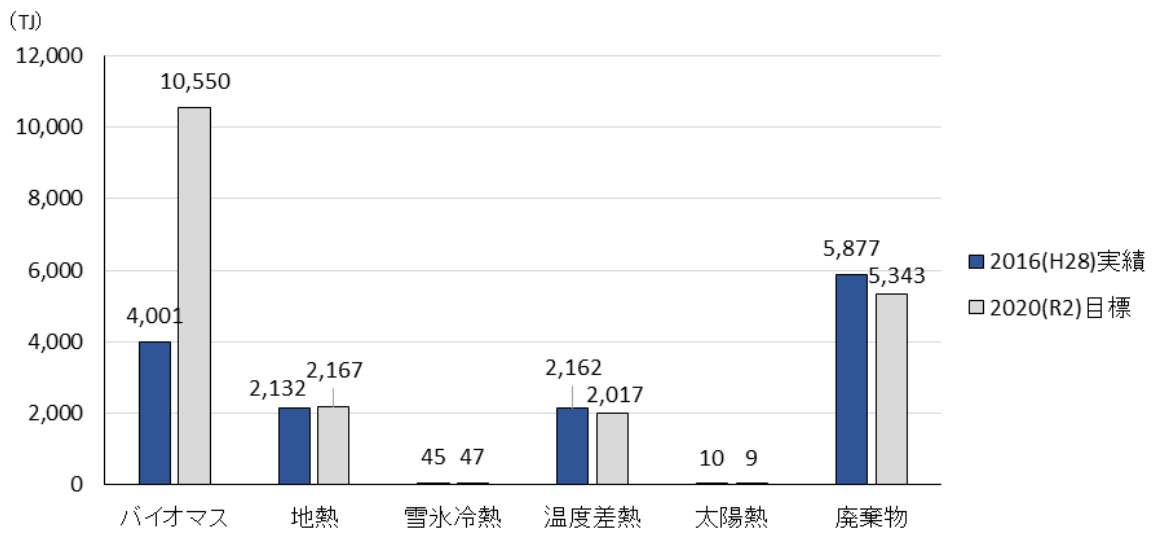


図 再生可能エネルギーの導入状況（熱利用）

（出典：「平成30年度省エネルギー・新エネルギー関連施策の取組状況」北海道経済部）

【参考資料】

平成29年度の道の施策に対する北海道環境審議会の答申(H30.10.26)への対応状況

項目	答申内容(概要)	対応状況
温室効果ガス排出量の状況	<p>○ 近年、温室効果ガス排出量は、民生部門における電力使用量の減少などにより減少傾向にあるが、基準年に比べると増加していることから、削減目標の達成に向け、引き続き、重点施策を中心とした取組を推進していく必要がある。</p>	<p>● 削減目標の達成に向けて、引き続き、推進計画に掲げた3つの重点施策を中心に、関係各部及び関係機関と連携しながら、効果的な対策・施策を推進します。</p>
削減シナリオの達成状況	<p>○ 削減シナリオの進捗状況については、順調に取組が進んでいる項目もあるが、全体としては計画どおり進んでいないことから、それぞれの取組をより一層推進していく必要がある。特に、道民の環境配慮行動やエコドライブなど取組が進んでいない項目については、新たな施策を検討するなどして削減に取り組む必要がある。</p> <p>○ なお、実施状況を取りまとめる際には、エネルギー消費量の推移などを活用し、道民や事業者の削減努力を可視化する工夫も検討する必要がある。</p>	<p>● 取組が進んでいない項目に関して、計画に基づく施策の点検評価の結果等を踏まえ、より効果的な施策等を検討します。</p> <p>● 削減シナリオの進捗状況を評価する際には、項目毎の分析に加え、エネルギー消費量の推移等を参考にするなど、わかりやすく取りまとめる方法を検討します。</p>
施策の実施状況	<p>○ 全道各地で実施されている道民やNPOなどによる地球温暖化対策の取組について、引き続き、きめ細やかな把握に努め、最新の事例を積極的に情報発信するなど、各主体の自主的な取組が促進されるよう支援していく必要がある。</p>	<p>● 道内各地域で行われている地球温暖化対策の取組については、引き続き、北海道環境財団などと連携して、施策の点検評価等で情報を収集するとともに、ホームページや会議の場などを活用し、情報発信を進めていきます。</p>
今後の施策等について	<p>○ 今後の施策等の展開に当たっては、次の点に留意して取り組むことが必要である。</p> <p>① 先に発生した大規模停電により、様々な分野に影響が及んだことを踏まえ、再生可能エネルギーを活用した自立・分散型エネルギーの導入を促進し、災害に強い地域づくりを進めていくこと。</p>	<p>● 庁内関係部局と連携し、身近な地域で自立的な確保が可能なエネルギー資源を、地域の実情に応じて効果的・効率的に活用していけるよう、災害時の自立型電源となりえるエネルギーの地産地消の取組を加速化していきます。</p>

	<p>②道民・事業者等の節電や省エネルギーに係る取組について、改めてその重要性を認識し、より一層の取組を促進すること。</p> <p>③地域における地球温暖化対策の推進体制を確保するため、市町村や民間団体などに対して必要な支援を行うこと。</p> <p>④気候変動による影響への適応について、国の「気候変動適応法」や道の「北海道における気候変動の影響への適応方針」を踏まえ、着実に取組を進めていくこと。</p> <p>⑤平成31年度から譲与が開始される森林環境譲与税などを活用し、森林吸収源の確保に向けて計画的な森林整備を推進すること。</p>	<p>● 道民・事業者を対象とした省エネ・節電に係る普及啓発やエコドライブの推進など、ライフスタイル・ビジネススタイルの転換に資する取組を推進するとともに、エネルギーの効率的利用に貢献した企業への表彰、道有施設における率先した省エネ化の取組などにより、省エネルギーの促進を図ります。</p> <p>● 市町村担当者会議の活用や、庁内関係部局との情報共有によりニーズの把握に努めるほか、推進計画の見直しの中で、地球温暖化防止活動推進センターとの連携強化について検討します。</p> <p>● 令和元年度内を目途に、「北海道気候変動適応計画（仮称）」の策定に取り組むとともに、庁内関係部局や関係機関等と連携しながら、適応の取組を進めます。</p> <p>● 森林整備を進める市町村の体制強化に向けた、職員に対する研修会の開催、森林情報システムの充実などを進めるほか、「北の森づくり専門学院」において人材を育成するなど、道内各地の森林づくりが着実に進むよう、取り組んでいきます。</p>
--	--	--